

火葬施設整備に伴う基本計画

報 告 書

平成 20 年 3 月

遠賀・中間地域広域行政事務組合

【 も く じ 】

計画策定の背景及び位置づけ

- 1．計画策定にあたって 1
- 2．計画の位置づけ 2
- 3．計画の構成 2

地域概況の整理

- 1．本組合の位置及び社会基盤 3
- 2．気象状況 5
- 3．人口等の推移及び分布 6

施設状況等の整理

- 1．施設概要 9
- 2．火葬施設の運転状況の整理 11
- 3．課題事項の整理 17

必要炉数の検討

- 1．将来予測の前提条件 20
- 2．将来予測の手順 21
- 3．将来予測の結果 22
- 4．必要火葬炉基数の算定 23

施設整備基本計画

- 1．基本方針 25
- 2．導入施設に関する計画 28
- 3．火葬炉設備に関する計画 36
- 4．敷地構成に関する計画 39

環境保全計画

- 1．環境保全に関する法令 41
- 2．環境保全目標値の設定 42

事業実施方針

- 1．事業費 44
- 2．事業実施スケジュール 45

I 計画策定の背景及び位置づけ

1 . 計画策定にあたって

遠賀・中間地域広域行政事務組合(以下、「本組合」という。)の火葬事務については、昭和 46 年に水巻町、岡垣町、芦屋町、遠賀町の 4 町で構成された「遠賀郡遠賀町ほか三町火葬場組合」の設立に始まり、翌年の 5 月より中間市が本組合へ加入して以降、現在に至るまで 1 市 4 町体制で火葬事務を行っている。

本組合の火葬事務の一環である火葬施設「天生園」については昭和 48 年の供用開始から約 35 年が経過した施設であり、施設の状況にあわせて補修・改修・改造等の工事を行っているものの施設自体の老朽化が進んでおり、施設の更新が必要となっている。

また、本組合において取り扱う火葬件数は年々増加しており、社会情勢として高齢化が進んでいることを考慮すると、今後も火葬件数は増加していくものと考えられ、現行の火葬炉数での対応が困難となることが想定される。

こうした状況を踏まえた上で、本計画では将来的な火葬件数を考慮した火葬炉の基数の設定や、利用者へのサービスの向上を図るための各種設備の整備方針等を整理している。

2 . 計画の位置づけ

近年の高齢化社会の進展に伴い、本組合管内においても、今後一層の火葬需要が見込まれることから、現有施設の敷地内に新たな火葬施設を整備するための基本方針を定めるものである。

なお、本計画は、長期的・総合的な観点から、本組合における適正な火葬体制の確立と周辺環境に配慮した火葬場建設を目的とし、住民との合意形成を図りながら火葬場の整備に関する施策を計画的に進めていくための基本的な枠組みを整理した計画として位置付けている。

3 . 計画の構成

本計画は、図 1-1 に示す構成で今後必要となる火葬施設の基本計画を策定している。

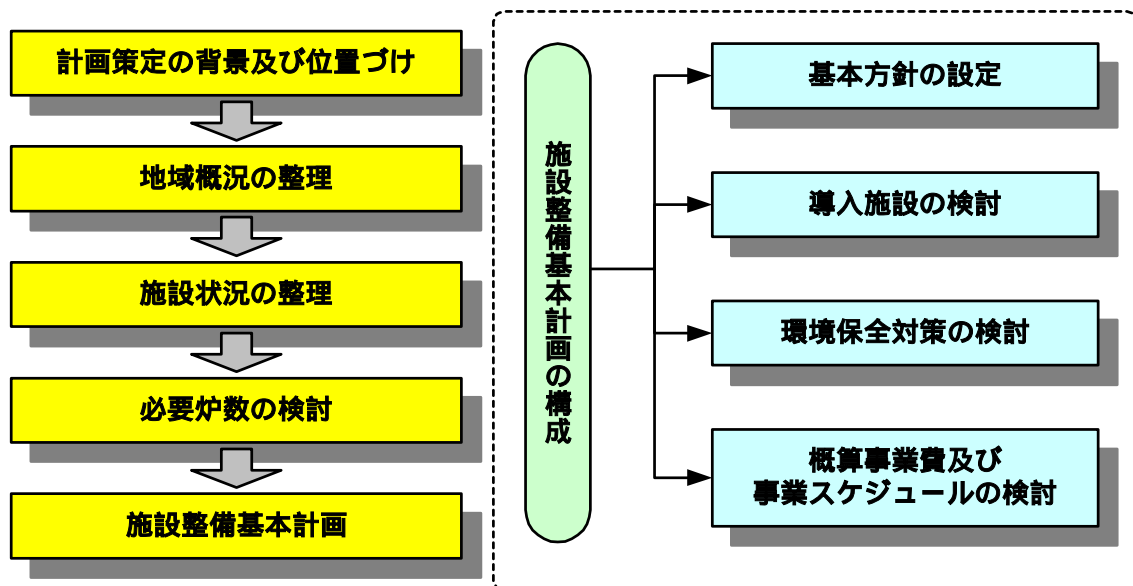


図1-1 本計画の構成

Ⅱ 地域概況の整理

1 . 本組合の位置及び社会基盤

(1) 位置

本組合は福岡県の北部に位置し、東は北九州市(若松区、八幡西区)、西は宗像市、南は鞍手町と隣接しており総面積は109.08km²(中間市:15.98km²、水巻町:11.03km²、岡垣町:48.51km²、芦屋町:11.42km²、遠賀町:22.14km²)である。

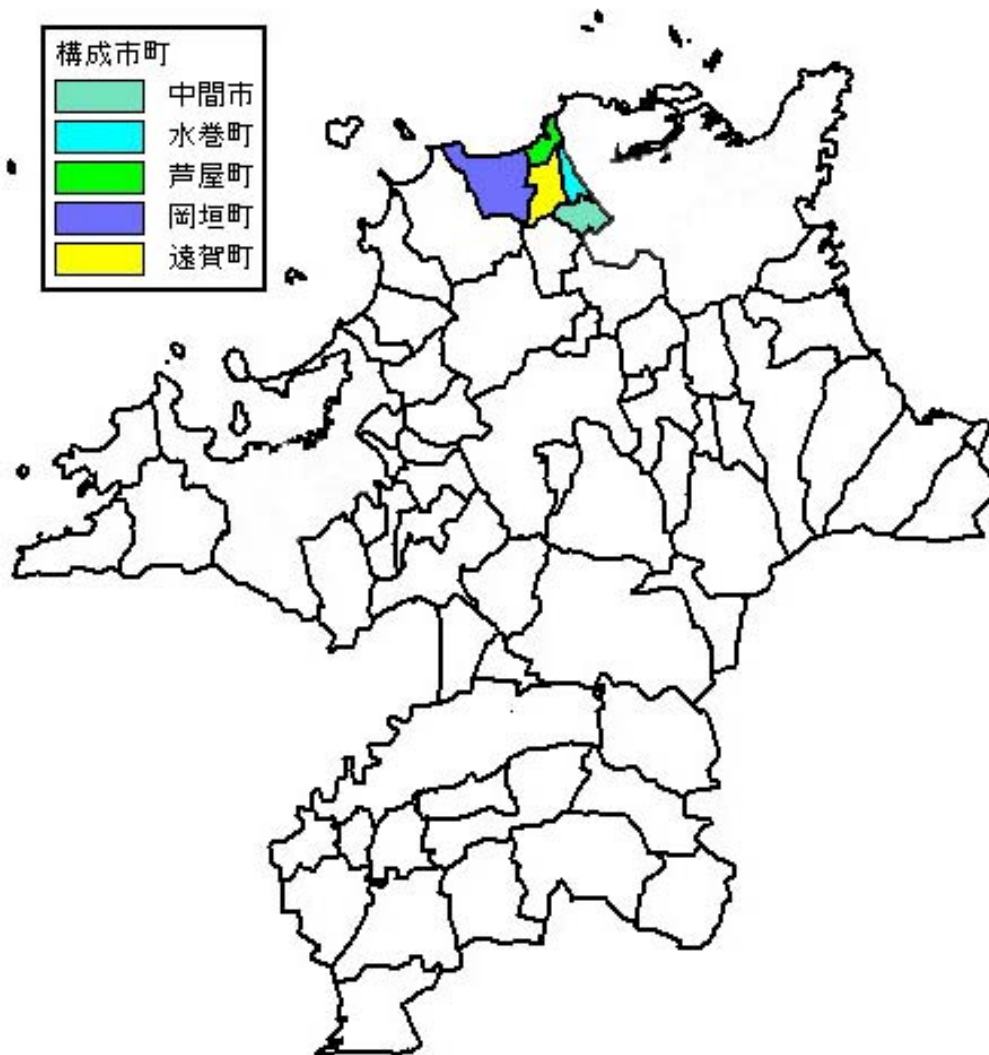


図2-1 構成市町の位置

(2) 交通

本組合管内には主要幹線道路として、国道3号線、国道495号線が管内を横断している。また、主要交通機関は、JR鹿児島本線やJR筑豊本線が本組合管内を通っている(図2-2参照)。

現有の火葬施設「天生園」は遠賀町の南部に位置している。



図2-2 交通網の状況

2 . 気象状況

飯塚測候所で観測された降水量及び気温を、表 2-1 及び図 2-3 に示す。

過去 10 年間の年間平均降水量は約 1,815mm と比較的多く、平均気温は 16.1 前後と温暖な気候となっている。

表2-1 気象概要

| | 降水量 (mm) | 気温() | | | 平均風速 (m/s) | 日照時間 (h) |
|--------|-------------|-------|------|------|---------------|-------------|
| | | 平均値 | 最高値 | 最低値 | | |
| 平成9年度 | 1,517.0 | 16.0 | 34.2 | -3.9 | 2.4 | 1,966.3 |
| 平成10年度 | 2,284.5 | 16.8 | 35.3 | -4.7 | 2.2 | 1,702.7 |
| 平成11年度 | 1,846.5 | 15.8 | 34.1 | -3.6 | 2.2 | 1,737.3 |
| 平成12年度 | 1,812.5 | 16.0 | 35.4 | -3.2 | 2.2 | 1,998.6 |
| 平成13年度 | 1,449.5 | 15.9 | 35.7 | -3.7 | 2.1 | 1,871.8 |
| 平成14年度 | 1,839.5 | 16.1 | 35.5 | -3.2 | 2.3 | 1,911.6 |
| 平成15年度 | 1,949.0 | 15.9 | 35.6 | -3.2 | 2.2 | 1,692.1 |
| 平成16年度 | 1,878.5 | 16.4 | 36.1 | -4.3 | 2.1 | 1,985.1 |
| 平成17年度 | 1,262.0 | 15.9 | 35.3 | -4.5 | 2.3 | 1,861.4 |
| 平成18年度 | 2,317.0 | 15.9 | 36.7 | -4.1 | 2.0 | 1,757.6 |
| 平均 | 1,815.6 | 16.1 | 35.4 | -3.8 | 2.2 | 1,848.5 |

出典：気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

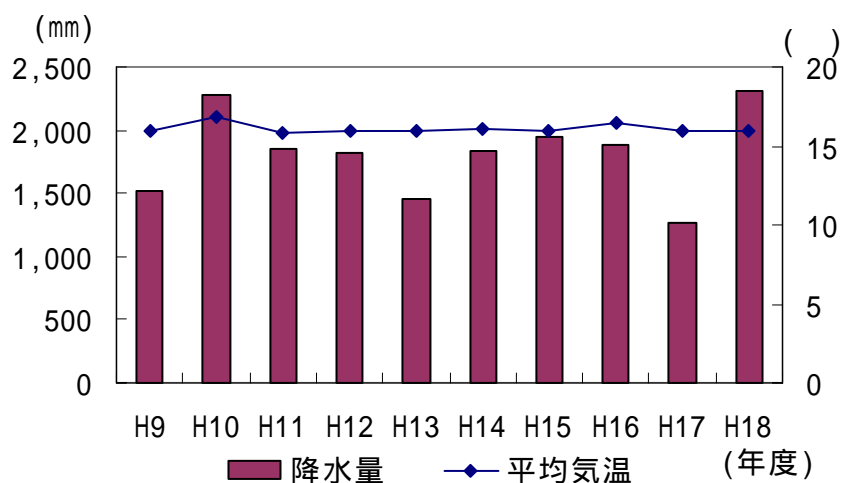


図2-3 降水量及び平均気温の推移

3 . 人口等の推移及び分布状況

(1) 人口の推移及び分布状況

本組合管内の人口及び世帯数の推移を、図 2-4 及び表 2-2 に示した。

本組合管内の人口は、近年 5 ヶ年ではほぼ横ばい傾向となっている。一方で、世帯人数は、2.68 人から 2.54 人と緩やかな減少傾向となっており、核家族化が進行している。

次に年齢別人口分布を、図 2-5 に示した。本組合管内では、労働対象となる 15～64 歳の人口が全体の 63.4% を占めており、特に団塊の世代である 50～64 歳台の人口が多くなっている。団塊の世代以上の住民については、本組合管内に定住する可能性が高いことから、こうした点も配慮した計画とする必要がある。

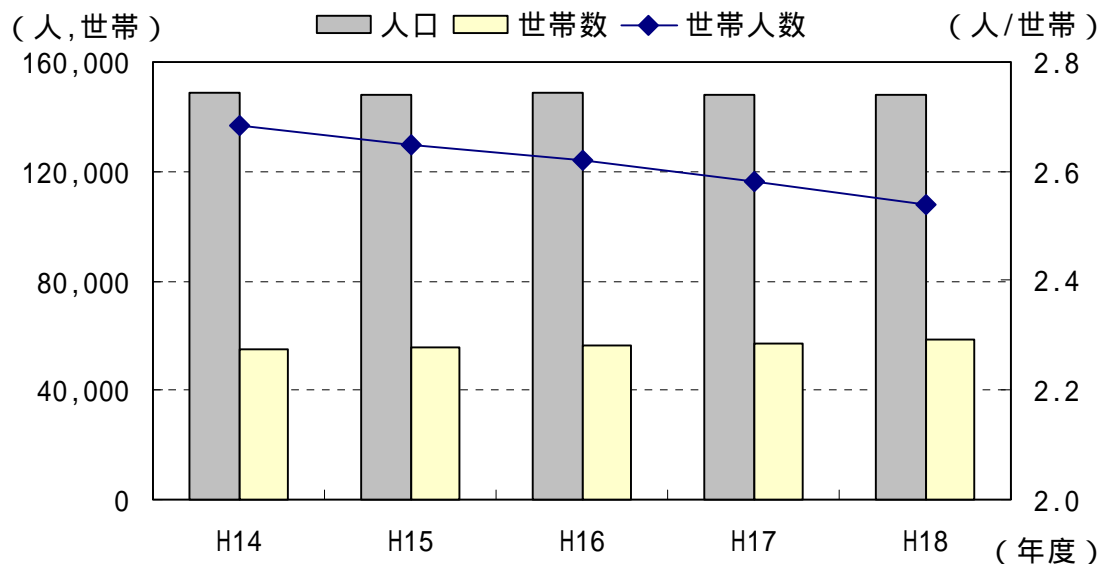
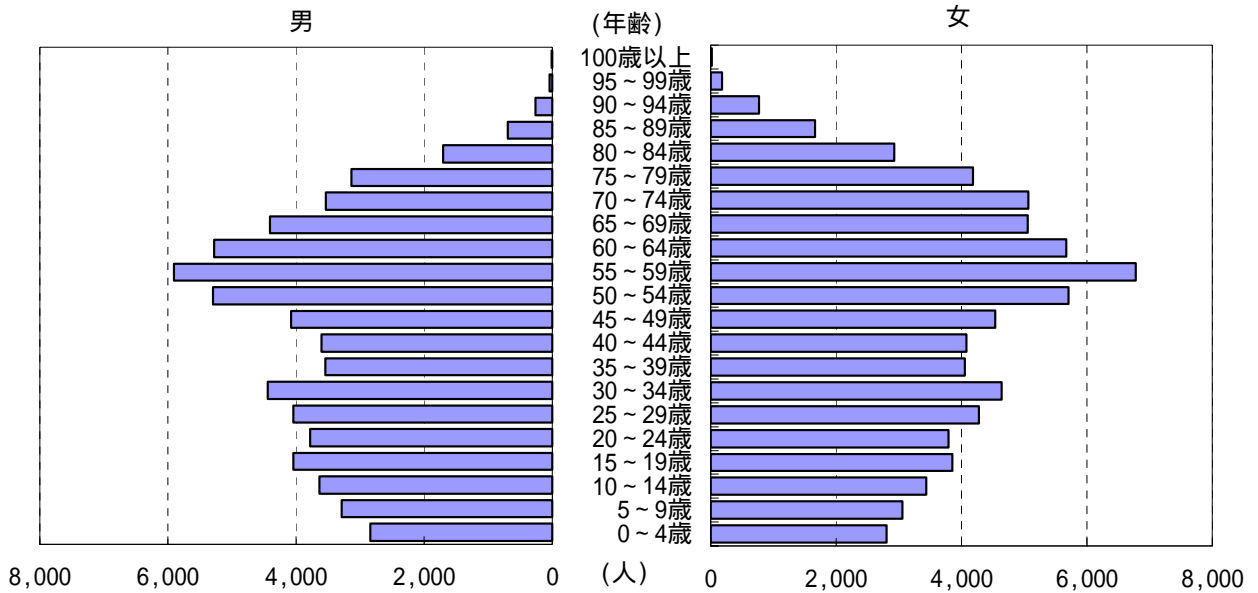


図2-4 人口・世帯数・世帯人数の推移

表2-2 人口・世帯数・世帯人数の推移

| 項目 | 単位 | H14年度 | H15年度 | H16年度 | H17年度 | H18年度 |
|---------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 行政区域内人口 | 人 | 148,455 | 148,295 | 148,470 | 148,160 | 147,749 |
| 中間市 | 人 | 49,118 | 48,902 | 48,757 | 48,327 | 47,979 |
| 水巻町 | 人 | 32,197 | 32,029 | 32,016 | 31,768 | 31,485 |
| 芦屋町 | 人 | 16,394 | 16,567 | 16,574 | 16,567 | 16,432 |
| 岡垣町 | 人 | 31,138 | 31,114 | 31,438 | 31,844 | 32,153 |
| 遠賀町 | 人 | 19,608 | 19,683 | 19,685 | 19,654 | 19,700 |
| 世帯数 | 世帯 | 55,294 | 56,003 | 56,659 | 57,401 | 58,168 |
| 中間市 | 世帯 | 19,281 | 19,515 | 19,601 | 19,774 | 19,928 |
| 水巻町 | 世帯 | 12,030 | 12,136 | 12,317 | 12,369 | 12,492 |
| 芦屋町 | 世帯 | 6,483 | 6,598 | 6,686 | 6,712 | 6,725 |
| 岡垣町 | 世帯 | 10,973 | 11,108 | 11,328 | 11,644 | 11,932 |
| 遠賀町 | 世帯 | 6,527 | 6,646 | 6,727 | 6,902 | 7,091 |
| 世帯人数 | 人/世帯 | 2.68 | 2.65 | 2.62 | 2.58 | 2.54 |
| 中間市 | 人/世帯 | 2.55 | 2.51 | 2.49 | 2.44 | 2.41 |
| 水巻町 | 人/世帯 | 2.68 | 2.64 | 2.60 | 2.57 | 2.52 |
| 芦屋町 | 人/世帯 | 2.53 | 2.51 | 2.48 | 2.47 | 2.44 |
| 岡垣町 | 人/世帯 | 2.84 | 2.80 | 2.78 | 2.73 | 2.69 |
| 遠賀町 | 人/世帯 | 3.00 | 2.96 | 2.93 | 2.85 | 2.78 |

出典) 遠賀・中間地域広域行政事務組合ホームページ



出典) 平成17年度国勢調査結果

図2-5 年齢別人口分布

(2) 出生及び死亡者数の推移

本組合管内の出生及び死亡者数の推移を、表2-3及び表2-4に示した。

出生者数の推移は、平成9年度以降ほぼ横ばい傾向を示しているのに対し、死亡者数については緩やかな増加傾向となっており、人口動態としては自然減となっている。

表2-3 出生者数の推移

| | 出生 | | | | | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 中間市 | 水巻町 | 芦屋町 | 岡垣町 | 遠賀町 | |
| H9年度 | 361 | 241 | 158 | 179 | 117 | 1,056 |
| H10年度 | 378 | 271 | 158 | 208 | 91 | 1,106 |
| H11年度 | 373 | 254 | 165 | 195 | 139 | 1,126 |
| H12年度 | 358 | 243 | 174 | 207 | 124 | 1,106 |
| H13年度 | 358 | 244 | 157 | 213 | 125 | 1,097 |
| H14年度 | 361 | 265 | 176 | 192 | 143 | 1,137 |
| H15年度 | 340 | 261 | 167 | 208 | 151 | 1,127 |
| H16年度 | 334 | 251 | 160 | 207 | 122 | 1,074 |
| H17年度 | 325 | 255 | 160 | 229 | 132 | 1,101 |
| H18年度 | 349 | 251 | 132 | 251 | 144 | 1,127 |

出典) 構成市町保有の統計データ

表2-4 死亡者数の推移

| | 死亡者 | | | | | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 中間市 | 水巻町 | 芦屋町 | 岡垣町 | 遠賀町 | |
| H9年度 | 406 | 226 | 131 | 229 | 142 | 1,134 |
| H10年度 | 480 | 297 | 135 | 279 | 162 | 1,353 |
| H11年度 | 488 | 271 | 152 | 255 | 142 | 1,308 |
| H12年度 | 425 | 257 | 128 | 259 | 149 | 1,218 |
| H13年度 | 453 | 272 | 136 | 292 | 153 | 1,306 |
| H14年度 | 448 | 291 | 138 | 291 | 144 | 1,312 |
| H15年度 | 461 | 293 | 141 | 287 | 145 | 1,327 |
| H16年度 | 501 | 288 | 148 | 295 | 170 | 1,402 |
| H17年度 | 490 | 276 | 124 | 298 | 161 | 1,349 |
| H18年度 | 486 | 344 | 129 | 347 | 188 | 1,494 |

出典) 構成市町保有の統計データ



出典)「天生園」パンフレットより

写真3-1 天生園の概観

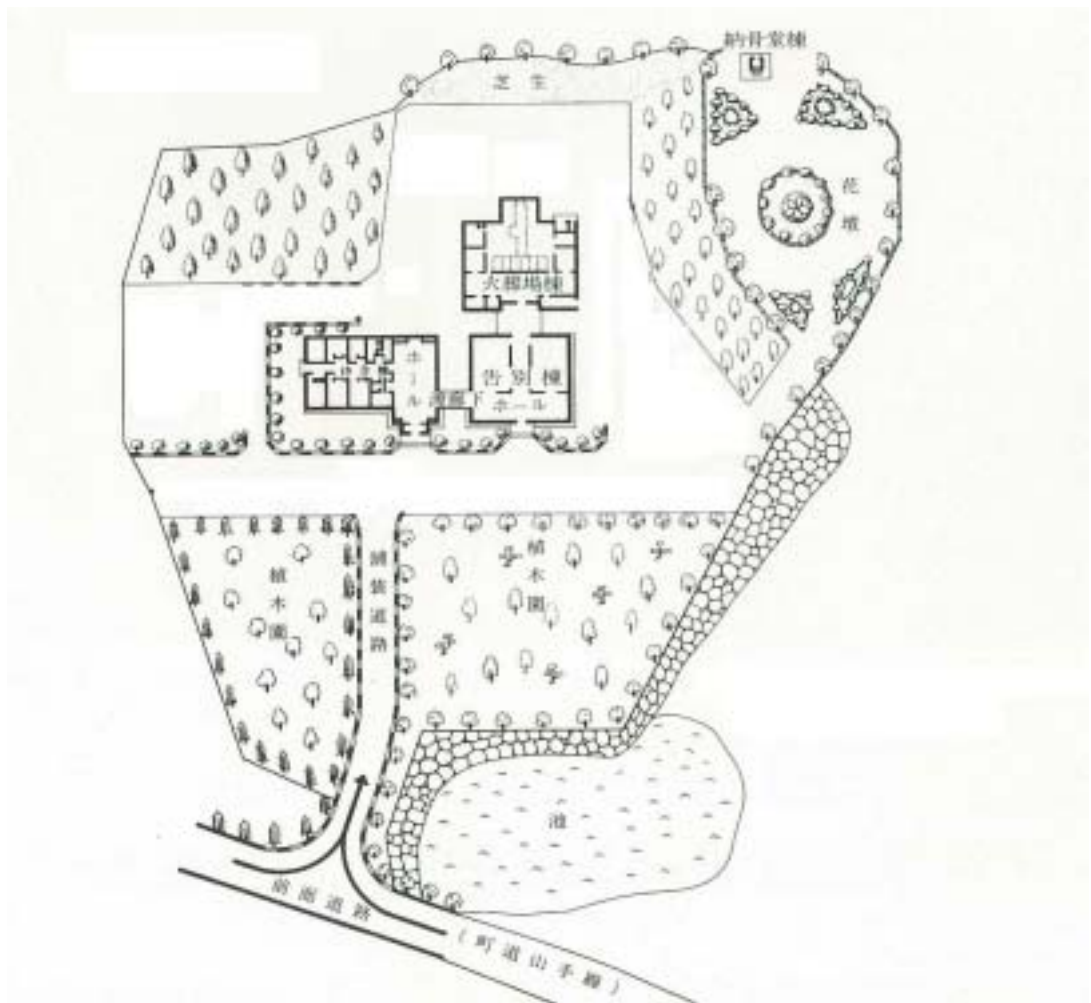


図3-1 配置図

出典)「天生園」パンフレットより

2 . 火葬施設の運転状況の整理

(1) 火葬実績の推移

本施設における火葬実績の推移を、表 3-2 及び図 3-2 に示した。

本組合管内者の火葬実績の推移は、緩やかな増加傾向となっている。

一方で、本組合管外者（10 年間の平均値：41 人）及びその他の火葬件数（10 年間の平均値：71 人）は概ね一定となっている。

表3-2 火葬実績の推移

| 項 目 | 単 位 | H9 | H10 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | 平均 |
|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 管内者の火葬件数 | 人 | 1,082 | 1,279 | 1,265 | 1,190 | 1,256 | 1,279 | 1,260 | 1,363 | 1,314 | 1,444 | 1,273 |
| 管外者の火葬件数 | 人 | 33 | 38 | 38 | 35 | 47 | 35 | 38 | 40 | 43 | 60 | 41 |
| その他の火葬件数 | 人 | 66 | 66 | 64 | 87 | 71 | 76 | 82 | 65 | 75 | 57 | 71 |
| 合 計 | 人 | 1,181 | 1,383 | 1,367 | 1,312 | 1,374 | 1,390 | 1,380 | 1,468 | 1,432 | 1,561 | 1,385 |

注) 表中の「その他」は死産児・胎盤及び産汚物・手術肢体の総称としている。

注) 「管内外者の火葬件数」には大人と子供の火葬件数を合計した数値としている。

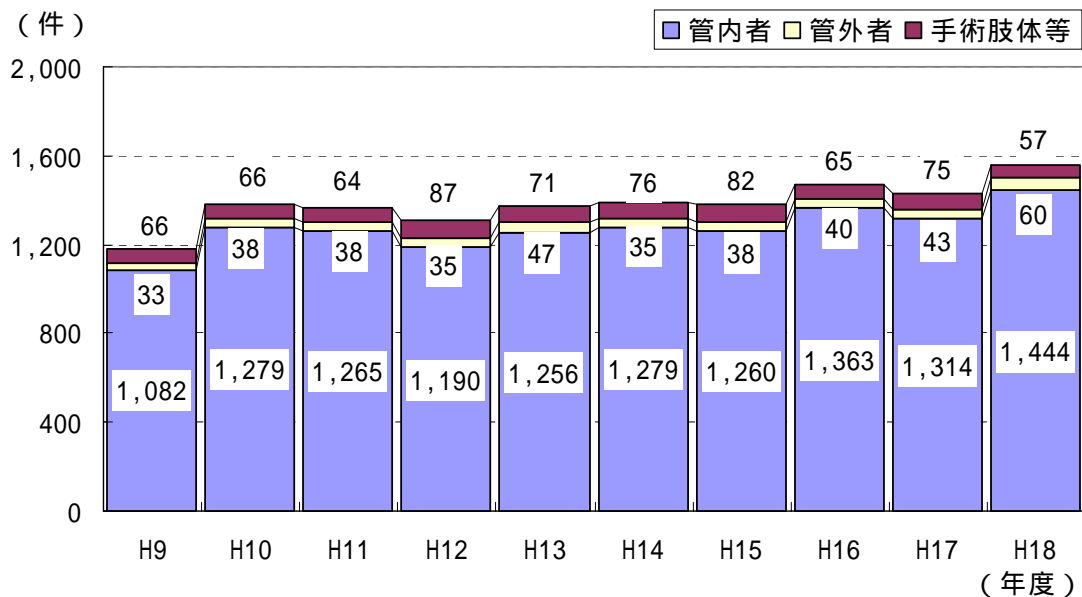


図3-2 火葬実績の推移

(2) 管内での火葬状況

本組合管内における火葬状況を、表 3-3 に示した。

統計上の死亡者数のうち、本施設で火葬を行っている割合は約 96% (10 年間の平均値) となっている状況が確認された。

表3-3 管内における火葬状況

| 項 目 | 単位 | H9 | H10 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | 平均 |
|----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 統計上の死亡者数 | 人 | 1,134 | 1,353 | 1,308 | 1,218 | 1,306 | 1,312 | 1,327 | 1,402 | 1,349 | 1,494 | 1,320 |
| 管内者の火葬件数 | 件 | 1,082 | 1,279 | 1,265 | 1,190 | 1,256 | 1,279 | 1,260 | 1,363 | 1,314 | 1,444 | 1,273 |
| 管内での火葬率 | % | 95.4 | 94.5 | 96.7 | 97.7 | 96.2 | 97.5 | 95.0 | 97.2 | 97.4 | 96.7 | 96.4 |

(3) 日平均火葬件数

本施設における日平均火葬件数を、表 3-4 に示した。

稼働日当たりの平均火葬件数は、平成 18 年度実績で約 4.5 件/日 (1,561 件 ÷ 350 日) となっている。

本施設では、火葬件数・稼働日数ともに増加傾向で推移しており、特に平成 18 年度の稼働日数は 350 日となっており、年間の非稼働日が 15 日となっている。

表3-4 管内における火葬状況

| 項 目 | 単位 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 火葬件数 | 件 | 1,380 | 1,468 | 1,432 | 1,561 |
| 稼働日数 | 日 | 337 | 341 | 347 | 350 |
| 日平均火葬件数 | 件/日 | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.5 |

(4) 火葬開始時間の状況

本施設における平成18年度の火葬開始時間の状況を、図3-3に示した。

本組合管内では12～14時までの時間帯に火葬を開始する件数が多くなっており、特に12時台に集中している状況にある。一方で、16時台の火葬件数は最も少ない状況であった。

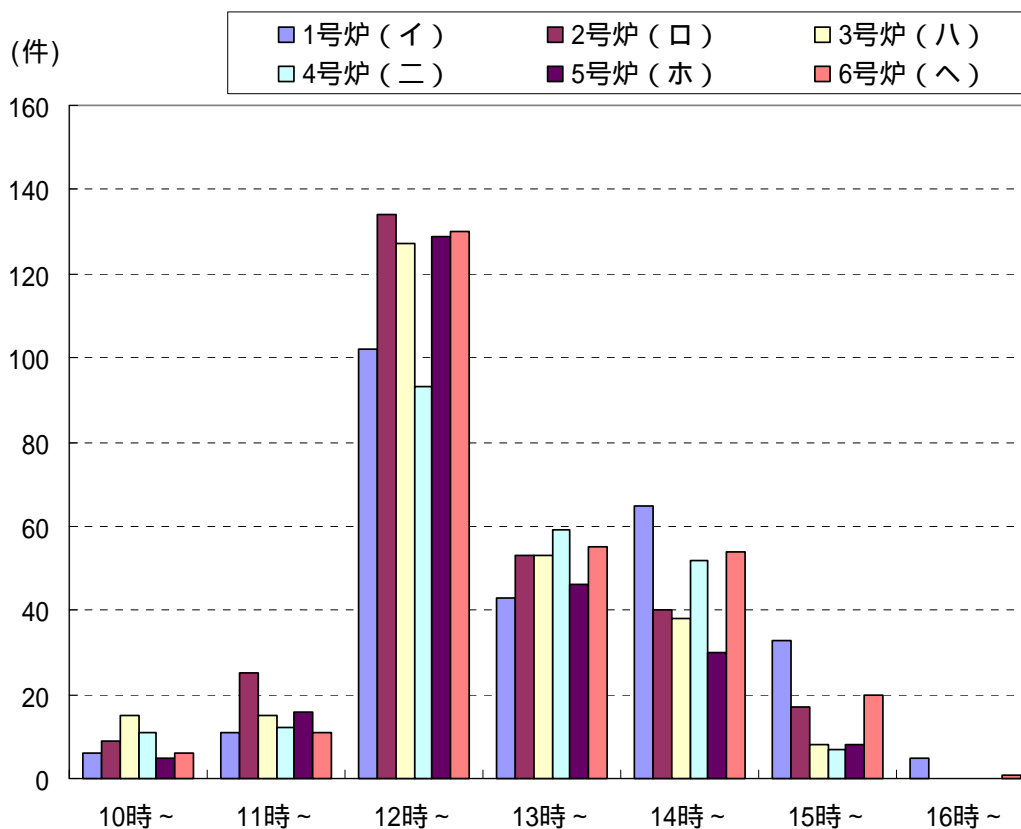


図3-3 火葬開始時間の状況 (平成18年度実績)

(5) 組織体制

本組合の組織体制を、図3-4に示した。

本施設の運営体制は、本組合職員が1名常駐し、運転管理は委託している。

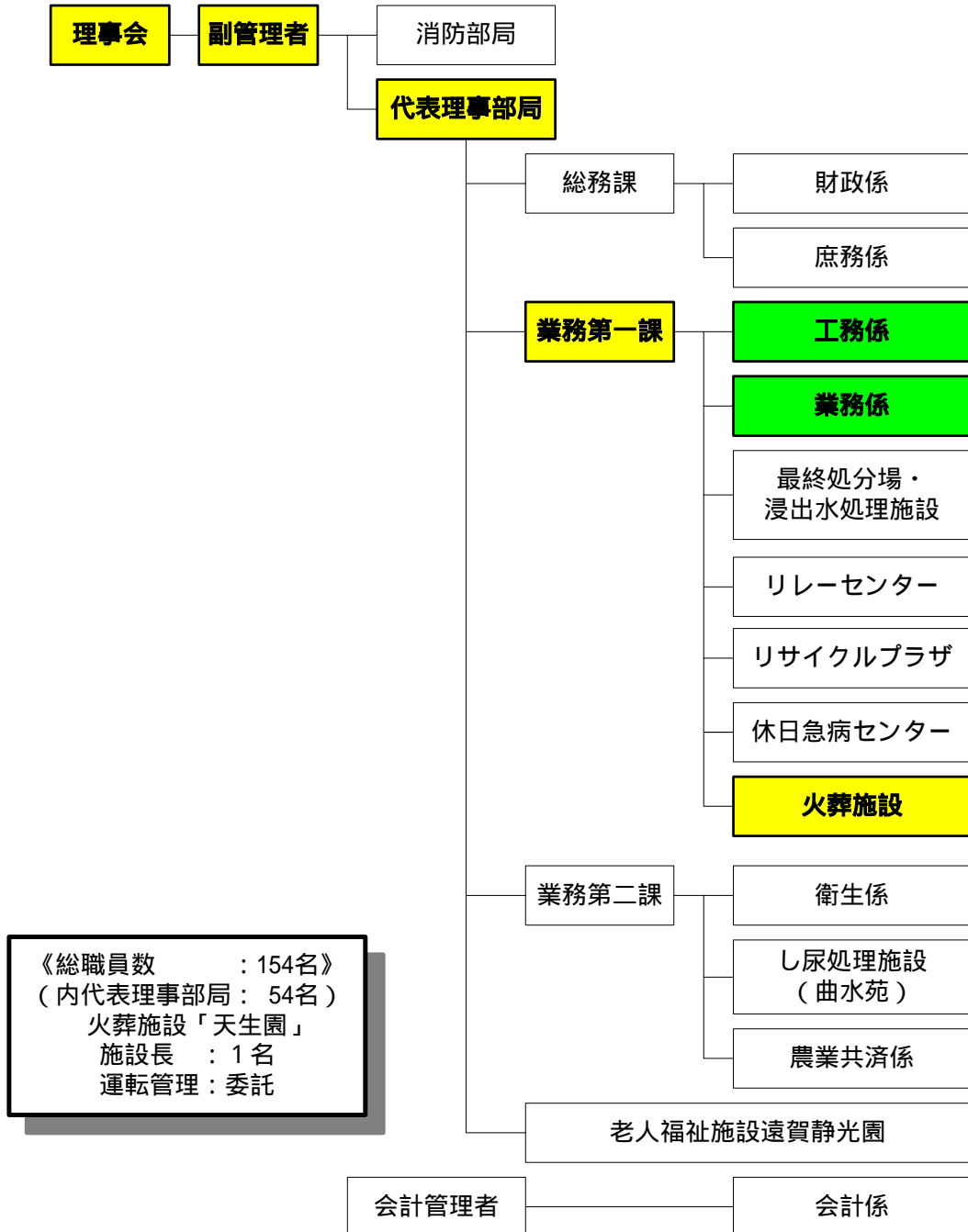


図3-4 組織体制図

(6) 維持管理費

本施設における維持管理費の推移を表3-5に、平成18年度の構成比を図3-5に示した。

本施設の維持管理費は、経年的にはほぼ横ばいで推移している。本施設では、火葬や庭園管理清掃などを委託していることから、委託費の構成比が平成18年度実績で約29.8%となっている。また、近年では工事請負費として火葬炉改修工事などが多くなっており、構成比も平成18年度実績で約11.3%となっている。

表3-5 維持管理費用

| 項目 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 消耗品費 | 1,045,559 | 1,167,299 | 1,245,732 | 1,476,833 | 1,195,282 |
| 光熱水費 | 4,175,847 | 3,867,511 | 4,017,130 | 4,030,147 | 3,903,280 |
| 燃料費 | 3,603,001 | 4,109,749 | 4,379,902 | 5,324,977 | 6,589,436 |
| 修繕費 | 2,276,415 | 7,653,539 | 6,024,979 | 795,111 | 917,010 |
| 委託費 | 25,684,424 | 24,755,593 | 24,301,016 | 21,828,707 | 21,396,552 |
| 工事請負費 | 4,157,950 | 0 | 12,600,000 | 13,003,200 | 8,127,000 |
| 備品購入費 | 515,445 | 507,190 | 122,823 | 218,900 | 1,511,200 |
| その他 | 12,776,047 | 29,255,041 | 18,622,522 | 18,762,311 | 28,256,823 |
| 合計 | 54,234,688 | 71,315,922 | 71,314,104 | 65,440,186 | 71,896,583 |

出典) 本組合資料

注) 表中の「その他」には賃金・役務費・負担金補助及び交付金・積立金が含まれている。

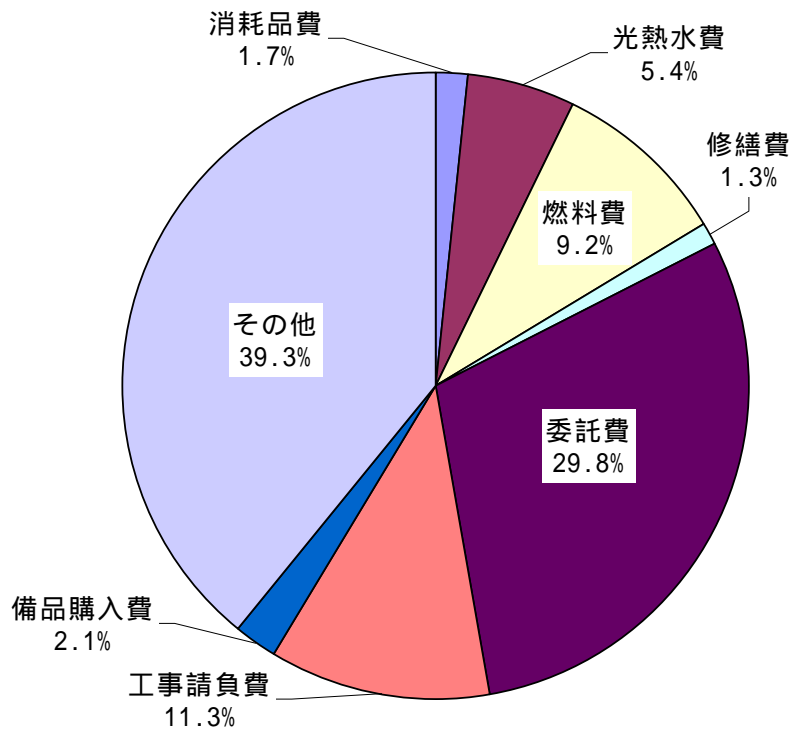


図3-5 維持管理費の内訳（平成18年度）

3 . 課題事項の整理

(1) 火葬件数の増加

本組合管内においては火葬件数が増加しており、1日最大で14件の火葬を行う場合もあるため、現在の施設規模（炉数）では、今後高齢化社会が進んだ際に対応が困難となることが想定される。なお、本施設においては、正月を除くほぼすべての日で施設を運転していることから、稼働日数の増加は不可能な状況であるため、火葬件数の増加に対する適正な炉数の検討を行う必要がある。

(2) 施設の老朽化

本施設は昭和48年の供用開始から約35年が経過した施設であり、平成4年度には火葬炉設備の全面改修工事を行っている。

施設の維持管理の一環として状況に併せた補修等の工事を行っているが、施設自体の老朽化も進んでいるため、全面的な施設の更新が必要となっている。同時に火葬設備（機器）の一般的な耐用年数は16年と言われており、平成4年度の全面改修工事から15年が経過している点も更新に向けた必要性の一因である。

(3) 施設の運用面での問題

運転日数

本施設は、他自治体において一般に休館日となる「友引」の日も含めて、正月を除くほぼすべての日で施設を運転しているため、日々の運転管理に対する負担が高くなっていることから、今後、休館日の取り扱いを検討していく必要がある。

火葬炉の形式

本施設の火葬炉については、普通炉が4基、大型炉が2基となっているが、現在の体型が大きい人が多くなっているため、普通炉では対処できない場合もあることから、大型炉の導入が必要となっている。

アスベスト対策

本施設では、平成18年度の調査において天井部にアスベスト含有の内装材を使用していることが判明している。

現時点では空気中へ飛散などの問題は生じていないものの、今後、本施設の解体時には万全の対策を取る必要がある。

環境保全対策

本施設では、火葬に伴う環境汚染対策として電気集塵機などの設備を設置して対応しているが、機器の老朽化も進んでいるため、今後の火葬施設の更新を機に、更に万全な環境保全対策を充実する必要がある。

(4) 利用者への配慮

待合室

近年、本施設での火葬実績は増加傾向となっており、それにあわせて会葬者が増えているため、現在の和室4室、洋室2室では、火葬が集中した際に待合室が手狭な状況となっていることから、更新する施設ではこうした点を考慮して計画していく必要がある。

高齢者及び障害者への配慮

本施設では、多目的トイレを平成 16 年度に設置しているが、バリアフリー対策や自動ドアなどが整備されていないことから、高齢者や障害者への十分な配慮ができていないため、更新する施設ではこうした点を考慮して計画していく必要がある。

サービスの充実

本施設においては、利用者より売店や喫茶コーナーなどのサービスを求められているが、現時点では必要スペースの確保が困難であるため、対応ができていない。更新する施設ではこうした点を考慮して計画していく必要がある。

IV 必要炉数の検討

1 . 将来予測の前提条件

将来予測を行った際の前提条件を、表 4-1 に示した。

人口の将来予測については、自治体等で策定する総合計画等の人口予測に採用されているコーホート要因法を用いて人口予測を行っている。

また、死亡者数の推計については、推計した男女別年齢別人口に死亡率(= 1-生存率) を乗じて算出した。

表4-1 将来人口の前提条件

| 項目 | 前提条件 |
|---------|--|
| 推 計 方 法 | コーホート要因法 |
| 基 準 人 口 | 平成17年国勢調査人口(構成5市町) |
| 推 計 期 間 | 平成19年～平成47年 |
| 生 存 率 | 「都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)による福岡県の男女年齢(5歳階級)別の仮定値を採用した。 |
| 純 移 動 率 | 平成17年の純移動率は下記の数式より算出した。 (平成17年国勢調査人口-平成17年想定人口:平成12年値) ÷平成12年国勢調査人口 平成17年想定人口 = 平成12年国勢調査人口 × 生存率 |
| 出 生 率 | 「都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)による福岡県の女子年齢(5歳階級)別の仮定値を採用した。 |
| 出 生 性 比 | 「日本の将来推計人口(平成19年5月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)に用いられた近年5年間の実績である105.4を採用し、これが一定として仮定した。 |
| 死 亡 率 | 「火葬場の建設・維持管理マニュアル」(平成14年:特定非営利活動法人日本環境斎苑協会)に基づき、推計した男女別・年齢別人口に男女別・年齢別死亡率(1-生存率)を乗じて算出した。 |

2 . 将来予測の手順

本計画に採用したコーホート要因法とは、同時期に出生した集団毎の時間変化を軸として、人口の変化を捉える予測方法である。例えば 30～34 歳の人口の集団は、5 年後に 35～39 歳の人口の集団に達することとなるが、その間には病死や事故死などにより人口集団は減少する。35～39 歳の人口の集団に達した人口集団は、更に 5 年後に 40～44 歳の集団に達し、更に人口は減少する。こうした人口集団の変化量を予測していく方法をコーホート要因法という。

以下に、本計画で実施した将来予測の手順を示した。

既に生まれている人口は、男女別年齢別基準人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が公表している男女別年齢別生存率や社会移動率の仮定値を利用して、5 年後の人口集団を求める。

5 年後に新たに生まれる人口集団（0～4 歳）は、再生産年齢期間（15～49 歳）にある年齢別女子人口と 同様の計算で算出した 10～44 歳の人口集団の予測値を平均し、これに国立社会保障・人口問題研究所が公表している女子の年齢別出生率を乗じて、5 年間の出生数を算出する。

求めた出生数に国立社会保障・人口問題研究所が公表している出生性比、生存率、社会移動率を乗じて 5 年後の 0～4 歳児の男女別人口を推定する。

以上の手順を繰り返し、将来年次の人口を求める。

3 . 将来予測の結果

将来予測を行った結果を、表 4-2 に示した。

コーホート要因法は、出生率や生存率の状況から客観的に人口予測を行うものであるため、現在の人口が減少していることから将来人口も減少傾向となっている。

同様に、年齢別人口分布（図 2-5 参照）との関係上、死亡者数は増加傾向となっている。

表4-2 将来予測結果（人口及び死亡者数）

| 年 | 単位 | 将来人口 | 死亡者数 |
|-------|----|---------|-------|
| 平成22年 | 人 | 141,740 | 1,514 |
| 平成27年 | 人 | 137,687 | 1,709 |
| 平成32年 | 人 | 132,422 | 1,872 |
| 平成37年 | 人 | 126,062 | 1,998 |
| 平成42年 | 人 | 119,036 | 2,091 |
| 平成47年 | 人 | 111,448 | 2,167 |

4 . 必要火葬炉基数の算定

必要火葬炉基数の算定に当たっては、「火葬場の建設・維持管理マニュアル」に記載されている算定式に基づいて算定した（下式参照）。

$$\text{必要炉数} = \frac{\text{年間火葬件数} \div \text{稼働日数} \times \text{火葬集中係数}}{\text{1基1日当たりの平均火葬数}}$$

なお、年間火葬件数は、下記の設定で算出している。

管内火葬率は、平成9～18年度の火葬実績と統計上の死亡者数の比率を平均して算出しており、これに年間死亡者数を乗じて管内火葬件数を求めた。管外火葬件数及び管内外肢体等火葬件数は過去10年間の平均値を想定火葬件数として設定した（表3-2参照）。

上記の件数を合計して、最終的な年間火葬件数を算出した（表4-3参照）。

表4-3 年間火葬件数の算出

| | 年間死亡者数 (人) | 管内火葬率 | 管内火葬件数 (件) | 管外火葬件数 (件) | 管内外肢体等火葬件数 (件) | 年間火葬件数 (件) |
|----------|---------------|-------|---------------|---------------|-------------------|---------------|
| | A | B | C = A × B | D | E | C + D + E |
| 平成17～22年 | 1,514 | 0.96 | 1,453 | 42 | 71 | 1,566 |
| 平成23～27年 | 1,709 | | 1,641 | | | 1,754 |
| 平成27～32年 | 1,872 | | 1,797 | | | 1,910 |
| 平成33～37年 | 1,998 | | 1,918 | | | 2,031 |
| 平成38～42年 | 2,091 | | 2,007 | | | 2,120 |
| 平成43～47年 | 2,167 | | 2,080 | | | 2,193 |

前述した年間火葬件数を用いて、必要火葬炉の基数を算定した結果を表 4-4 に示す。
必要炉数を算定するための設定は、下記に示す通りである。

年間稼働日数は正月及び友引の日を休館日とし、概ね 300 日と設定した。

集中係数は「想定日最大件数 ÷ 日平均火葬件数」として算出した。

「想定日最大件数」は 1 日 9 件（1.5 回転）以上火葬した日を、火葬件数が集中した日として設定し、平成 18 年度の実績値をもとに 10 件/日と算出した。

平成 18 年度で 1 日 9 件以上の火葬があった日は年間を通して 15 日であり、この 15 日で火葬を行った件数の累計は 150 件であったことから、想定日最大件数を「150 件 ÷ 15 日 = 10 件/日」として設定した。

平成 18 年度実績として 1 日 14 件の火葬を行った実績はあるが、年間を通して 1 日であったことから、本値を採用した場合、過大な集中係数となると考えられるため、想定日最大件数は上記の方法を採用して算出した。

「日平均火葬件数」は表 3-4（p12）に整理した 4.5 件/日を採用し、集中係数を 2.2（10 件/日 ÷ 4.5 件/日）と設定した。

更新施設では日最大火葬件数が 15 件と想定されていることや、本組合管内の火葬の特徴として告別式の開始時間が 12～13 時に集中しているため、こうした点を考慮した上で効率良く火葬する必要があるため、1 基 1 日当たりの平均火葬件数を 2 件/炉として設定した。

以上に基づいて、今後整備する施設の必要炉数は将来的に 8 基として設定した（表 4-4 参照）。

なお、施設整備に当たっては、当面は火葬炉を 7 基整備し、1 基分は増設スペースを確保する計画とする。

表4-4 必要火葬炉基数の算定結果

| | 年間火葬件数 (件) | 年間稼働日 (日) | 日平均火葬件数 (件) | 集中係数 | 日最多火葬件数 (件) | 1基当たりの平均火葬件数 (件) | 必要炉数 (基) |
|----------|---------------|--------------|----------------|------|------------------|---------------------|----------------|
| | A | B | $C = A \div B$ | D | $E = C \times D$ | F | $G = E \div F$ |
| 平成17～22年 | 1,566 | 300 | 5 | 2.2 | 11 | 2.0 | 6 |
| 平成23～27年 | 1,754 | | 6 | | 13 | | 7 |
| 平成27～32年 | 1,910 | | 6 | | 13 | | 7 |
| 平成33～37年 | 2,031 | | 7 | | 15 | | 8 |
| 平成38～42年 | 2,120 | | 7 | | 15 | | 8 |
| 平成43～47年 | 2,193 | | 7 | | 15 | | 8 |

V 施設整備基本計画

1. 基本方針

既存火葬施設の課題等を踏まえて、更新する火葬施設の基本方針を以下のように設定した。

基本方針1：合理的な火葬施設の整備

本計画では、更新する施設は現在の火葬施設の敷地内で整備するものとし、更新時には、既存施設を稼働させながら安全性を十分に配慮しつつ整備する。

基本方針2：良質なサービスの提供

火葬施設では、遺族が故人との別れを行う場所であるため、遺族や会葬者の心情を十分に配慮した運営を行うものとする。

同時に、現在待合室が手狭な状況となっていることから、こうした点を配慮するとともに、高齢者や障害者を考慮したバリアフリー対策や、現有施設にはない売店や喫茶店などのサービススペースも設けるものとする。

基本方針3：清潔感のある美しいデザイン

火葬施設の建築意匠については、「最後の別れの場」、「人々の集まる場」をコンセプトとし、畏怖・不浄・圧迫感などの負の印象を感じさせずに、本施設に集う人々に厳かな中にも明るく暖かい印象をもってもらえるようなデザインとする。

基本方針 4：利用者に配慮した動線

初めて施設を利用する人でもわかりやすい動線計画や配置計画とし、施設内では案内表示の設置を徹底するなど、利用者に配慮した計画とする。

基本方針 5：環境に配慮した施設

更新施設の建設にあたっては、環境保全目標を設定し、十分な環境保全対策を講じた上で、周辺環境との調和を図るものとする。また、ダイオキシン類やばい煙の除去が十分に行える火葬炉設備を設置し、環境負荷の低減に努める。

2 . 導入施設に関する計画

(1) 機能の検討

火葬施設は一般的に、以下の4つの機能により構成されている。

更新する施設については「火葬機能」、「待合機能」、「管理機能」を保有した施設とする。「式場機能」に関しては、周辺に式場機能を有した民間企業が多くあることから、更新する施設には含めないものとした。

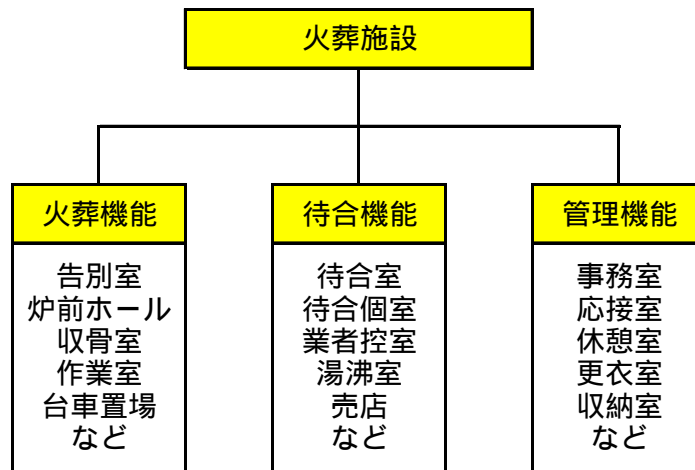


図5-1 火葬施設の機能

(2) 火葬機能の検討

火葬機能は、告別から収骨までを扱う設備であり、「告別室」、「火葬炉設備」、「収骨室」などが挙げられる。

エントランスホール

故人の遺族や会葬者が、最初に接する場所であることから、導入空間としての雰囲気づくりや、火葬件数の集中時の混雑にも対応するため、ゆとりのある構成とする必要がある。

炉前ホール（見送りホール）

炉前ホールは、火葬炉へ柩を納めることを確認すると同時に、最後の見送りを行うためのスペースとし、炉前ホールから待合室への人の流れがスムーズとなる計画とする。

収骨室

収骨室は焼骨を骨壺に収める「骨あげ」を行う場所であり、遺骨との対面の場所となるため、それにふさわしい雰囲気をもった空間として計画する。

作業室

作業室は、作業環境を良好に保つように配慮し、職員の作業動線が必要以上に複雑にならないようにする必要がある。火葬作業は高温と騒音の中で長時間行われる作業であるため、職員の健康管理に留意した施設構造として計画する。

また、作業室に隣接して休憩室やトイレなどの設備も設けるものとする。

制御室

近年の火葬施設は、火葬炉の技術進歩や公害防止設備の併設などにより、複雑化している傾向にある。そのため計器の確認、安全性の確認、火葬炉の操作を集中制御するシステムを導入しているケースが増えている。

更新する施設においては、効率的な運転管理を行うために、監視室を設ける計画とする。

台車置場・倉庫

台車には、エントランスホールで霊柩車から移しかえた柩を炉前ホール(見送りホール)まで運ぶ柩台車と、出炉して収骨室まで運ぶ炉内台車の2種類がある。そのため円滑な火葬作業を行うために、炉前ホールと収骨室に近い場所に台車置場を設ける計画とする。倉庫については、骨壺の保管、炉・台車の補修を含む道具や付属品を保管するために作業室側に1室設ける計画とする。

霊安室

火葬件数が集中した場合や身寄りのない遺体等の柩を一時的に安置する場所として、霊安室を設ける計画とする。霊安室は、炉前ホールに設置するケースが多いが、配置にあたっては火葬炉への移動時に他の会葬者の視覚に触れないように配慮するものとする。

残灰処理室

残灰処理室には、残骨灰及び飛灰を吸引装置により収集し、保管する設備を設けるものとし、炉室に隣接し、外部へ直接搬出が可能な位置とする。

(3) 待合機能の検討

待合室

近年では、火葬時間が約1時間前後と短くなっていることから、ほとんどの会葬者は待合室で待機することとなるため、会葬者の気持ちを和らげる配慮を行った待合室とする必要がある。また、遺族の中には他の喪家と顔を合わせたくない場合もあるため、個室の待合室を設ける計画とする。既存施設では、和室4室、洋室2室の待合室を保有しているが、火葬が集中した際に手狭となっていることから、こうした点に配慮した待合室を設ける計画とする。なお、待合室については、待合人数の調整を取りやすい和室を主体として計画し、和室は高齢者対応としてソファを置けるスペースを確保する。

給湯室・売店・喫煙室

既存施設では、給湯室は保有しているものの、売店や喫茶コーナーなどのサービス機能がないため、こうしたスペースを設ける計画とする。また、分煙を行うために喫煙室を設ける計画とする。

(4) 管理機能の検討

事務室

事務室は施設全体の管理や火葬施設を利用する際の手続きを行う場所であるため、会葬者に明確に位置がわかる場所に配置する計画とする。

休憩室・倉庫

作業員の休憩室とは別に、事務室に休憩室を設ける計画とする。同時に、書類や事務用品の保管を行う倉庫を設ける計画とする。

(5) 主要設備面積の検討

火葬施設の面積は一定の基準がないため、地域的な慣習や円滑な火葬作業が行えるスペース、火葬炉や公害防止のための設備などを勘案して、文献等を参考に以下のように設定した。

表5-1 主要設備面積

| 室名 | 設定概要 |
|-------|--|
| 炉前ホール | <p>会葬者を含めた炉内台車のスペースを幅 2.5m、炉内台車の移動距離を 10m 程度とし、炉前ホールに炉内台車が最大 6 台(告別 3 台 + 収骨 3 台)とし、70% 程度の余裕を持たせた。</p> <p>炉内台車のスペース : $2.5\text{m} \times 10\text{m} \times 6 \text{台} = 150\text{m}^2$ 余裕スペース : $150\text{m}^2 \times 70\% = 105\text{m}^2$</p> <p>【炉前ホールの想定面積】 $150\text{m}^2 + 105\text{m}^2 = 255\text{m}^2$</p> |
| 収骨室 | <p>収骨室は火葬のタイムスケジュールを考慮して 3 室として設定した。</p> <p>1 会葬当たり会葬者数 : 30 人程度 1 人当たりの占有面積 : $1.3 \sim 1.5\text{m}^2$</p> <p>【収骨室の想定面積】 $1.3 \sim 1.5\text{m}^2 \times 30 \text{人} \times 3 \text{室} = 117 \sim 135\text{m}^2$</p> |
| 待合室 | <p>待合室は 6 室として設定し、中央部にゆとりのある待合ロビーを確保する計画とした。なお、待合室については、今後の利用者の要望等にあわせて待合ロビーの一部を間仕切りするなどして、2 室追加できるスペースを確保する計画とした。</p> <p>1 会葬当たり会葬者数 : 30 人程度 1 人当たりの占有面積 : 2.0m^2 以上</p> <p>【待合室の想定面積】 $1.5 \sim 2.0\text{m}^2 \times 30 \text{人} \times 6 \text{室} = 270 \sim 360\text{m}^2$</p> |

(6) タイムテーブルの検討

更新する施設においては、告別から収骨までの流れとして、炉前ホールにおける告別 15 分程度、火葬 75 分程度、冷却 15 分程度、収骨 15 分程度の約 2 時間を 1 組として設定した。

上記の流れを踏まえた上で、火葬が集中した際の 1 日のタイムテーブルを表 5-2 に示す。

表5-2 集中日のタイムテーブル(案)

| | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:30 | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|----|
| 1号 | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | |
| | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | | |
| 2号 | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | |
| | 2 | | | | | 2 | | 2 | | | | 2 | | | |
| 3号 | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | |
| | 3 | | | | | 3 | | 3 | | | | 3 | | | |
| 4号 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | |
| | | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | |
| 5号 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | |
| | | 2 | | | | | 2 | | 2 | | | | 2 | | |
| 6号 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | |
| | | 3 | | | | | 3 | | 3 | | | | 3 | | |
| 7号 | | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 |
| | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | |
| 8号 | | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 | | 告別 | 火葬～冷却 | | | | 収骨 |
| | | | 2 | | | | | 2 | | 2 | | | | 2 | |

(7) 諸室面積の設定

前述した主要設備以外の諸室面積を表 5-3 に示す。

諸室の面積については、火葬炉 8 基、式場なし、郊外立地等の条件のもとに、火葬施設に関する文献等を参考として設定した。

表5-3 諸室面積の規模（案）

| 部門・機能 | 区分 | 計画面積 (㎡) | 文献面積 (㎡) | |
|-------|-----------|-------------|---------------|-----------|
| 火葬部門 | 1階 | エントランスホール | 270 | 250 |
| | | 炉前ホール | 252 | 255 |
| | | 収骨室 | 126 | 117 ~ 135 |
| | | 霊安室 | 16 | 50 |
| | | 風除室 | 60 | 50 |
| | | 炉室 | 284 | 340 |
| | | 制御室 | 30 | 30 |
| | | 休憩室 | 24 | 30 |
| | | シャワー室・ロッカー室 | 32 | - |
| | | 残灰処理室 | 40 | 60 |
| | | 機械室 | 32 | 45 |
| | | 電気室 | 60 | 45 |
| | | 便所 | 30 | 40 |
| | | 台車置場 | 21 | 200 |
| | | 倉庫 | 51 | - |
| | 通路等 | 40 | - | |
| | 2階 | 集塵機室 | 300 | 580 |
| 空調機室 | | 204 | 150 | |
| 小計 | | 1,872 | 2,242 ~ 2,260 | |
| 待合部門 | 待合ロビー | 448 | 190 | |
| | 待合室 | 300 | 270 ~ 360 | |
| | 売店・喫茶コーナー | 120 | 15 | |
| | 便所 | 44 | 53 | |
| | 授乳室 | 8 | - | |
| | 風除室 | 63 | - | |
| | 小計 | 983 | 528 ~ 618 | |
| 管理部門 | 事務室 | 60 | 80 | |
| | 業者控室 | 16 | 40 | |
| | 渡り廊下 | 90 | - | |
| | 喫煙室 | 25 | - | |
| | 小計 | 191 | 120 | |
| 延床面積 | | 3,046 | 2,890 ~ 2,998 | |

表中の計画面積は、概略の平面プランに基づいて設定している。

参考図書：「火葬場の建設・維持管理マニュアル」,特定非営利活動法人日本環境斎苑協会

(8) 動線計画

火葬施設では、「到着 告別 入炉 待合 出炉 退出」の一連の流れが円滑となるように、柩、会葬者及び職員の動線を計画する必要がある。本施設における動線の基本方針は以下の通りである。

会葬者と職員の動線が交錯しないように配慮し、特に炉前ホールから収骨室の動線が交錯しないように注意する。

建物の外部動線についても、敷地入口から駐車場、エントランスを結ぶ会葬者の動線と、管理者の管理動線、葬儀社や燃料搬入の搬送動線を可能な範囲で分離する。

炉前ホールにおける告別や収骨の作業動線は可能な範囲で直線的で距離を短くする。

3 . 火葬炉設備に関する計画

(1) 火葬炉

火葬炉は、耐久性があり、遺体・柩・副葬品を指定された燃焼時間内に未燃物が残らない燃焼能力を有する必要がある。また、排出ガス中のばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物などの有害物質や、悪臭並びに騒音等についての公害防止関係法令等を定める排出基準地値以下に制御しつつ運転できる性能とする。

一般的な火葬設備を図 5-2 に示す。

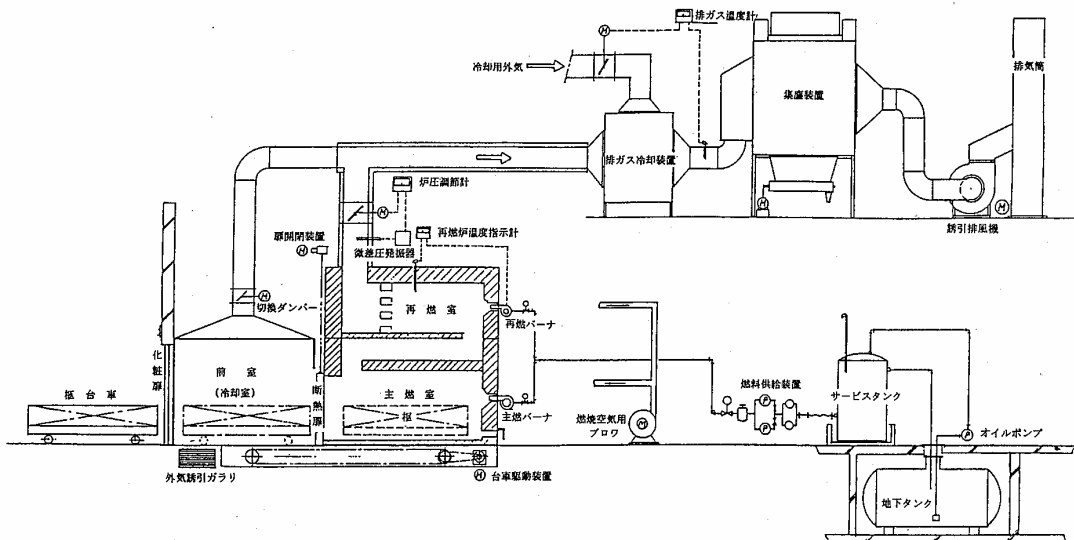


図5-2 火葬設備のイメージ

参考図書：「火葬場の建設・維持管理マニュアル」,特定非営利活動法人日本環境斎苑協会

(2) 炉体の形式

火葬炉の形式は大別すると、柩を載せた台車を炉内に移動させ台車の上で火葬を行う方法と、ロストルの上に柩を載せて火葬を行い下部の骨受皿に焼骨を受けける方法がある。ロストル型の場合、火葬後に焼骨が乱雑に落ちる方式であるため、会葬者の抵抗感もあることから、更新する施設は台車型で計画する。また、近年では、大きな体格の被葬者への対応が必要となっているため、更新する施設ではすべて大型炉を導入する計画とする。

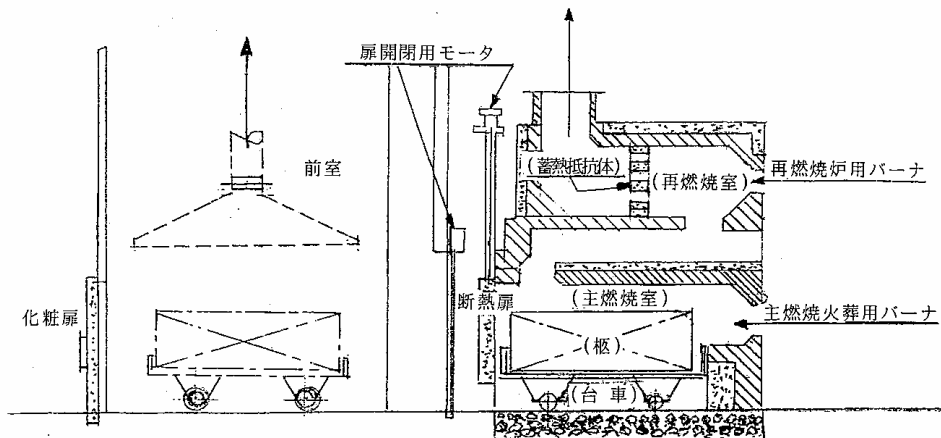


図5-3 台車型の火葬炉のイメージ

参考図書：「火葬場の建設・維持管理マニュアル」,特定非営利活動法人日本環境斎苑協会

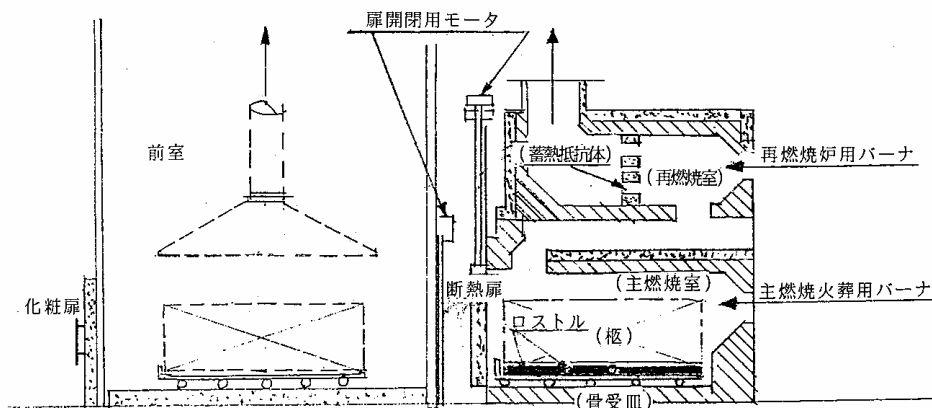


図5-4 ロストル型の火葬炉のイメージ

参考図書：「火葬場の建設・維持管理マニュアル」,特定非営利活動法人日本環境斎苑協会

(3) 使用燃料

使用する燃料は、液体燃料（重油・灯油）と気体燃料（都市ガス・LPガス）の2種類が挙げられる。使用する燃料として都市ガスを採用すれば灯油の貯蔵設備が必要なくなることや、燃焼性が安定するなどのメリットはあるが、都市ガスを供給する設備が近接していないという根本的な課題があるため、更新する施設での使用燃料は、液体燃料（灯油）を採用する計画とする。

(4) 排ガス処理

更新する施設では、排気筒からのダイオキシン類等の排出量を低減するために、高度排ガス処理設備やバグフィルタなどの集じん設備を設け、周辺環境へ配慮する計画とする。

(5) 排気筒

近年では再燃炉や強制排気装置（火葬炉設備で発生した燃焼ガス等を誘引排風機や押込送風機により強制的に排出する設備）の設置により、短い排気筒とすることが可能となっているため、更新する施設においても外部から排気筒が見え難い配慮をした計画とする。

(6) 計装制御装置

化粧扉の開閉、柵の収納などの火葬作業や、燃焼制御を管理するシステムを制御室に設ける計画とする。

4 . 敷地構成に関する計画

(1) 駐車場計画

更新する施設の駐車場の規模を、下記のように設定した。

車両台数

会葬者は実情を考慮して、1会葬当たり30人程度で、大型バス(定員20名程度)及び乗用車(1台当たり2名乗車)として想定した。また、駐車台数としては、最大8炉が稼動した場合で設定した。なお、職員用の車両台数としては、現在火葬件数が7件以上の場合、運転員3名、受付事務等3名で対応していることから、概ね6台として設定した。

表5-4 想定車両台数(案)

| 項 目 | 算出方法 |
|-----|---|
| 会葬者 | 1会葬当たり会葬者数：30人程度 大型バス使用　　：定員45名(会葬者の50%程度が乗車) 1台当たりの乗車人数：2名 【想定台数】 乗用車　　：8台((30名×50%)÷2名/台) 大型バス　：1台 |
| | 【最大運転時の想定車両台数】 乗用車　　：8台×8会葬グループ=64台 (概略平面プランでは乗用車は60台と設定している。) 大型バス　：1台×8会葬グループ=8台 |
| 職 員 | 【最大運転時を想定】 乗用車　　：6台程度 |

(2) 外構計画

火葬施設は、非日常的な葬送儀式を行う場所であるため、こうした環境にふさわしい空間設計や植栽計画を行うものとする。また、計画に当たっては高齢者や身障者に配慮したバリアフリー設計とする。

アプローチ

更新施設が完成するまでの間、既存施設を稼動する計画としていることから、更新施設へのアプローチについては、十分な配慮をする必要がある。

エントランス

更新施設への到着手段は、ほぼ車での利用が主となるため、可能な範囲で車寄せを計画する。また、霊柩車から枢台車への受け渡しが会葬者の動線を妨げないような計画とする。

建物のエントランス周りについては、遺族や会葬者が最初に目にする場所であることから、植栽等に十分に配慮した計画とする。

広場・園路

現有施設には広場はあるものの、既存施設とのアプローチが無いため十分な活用がなされていない。今後更新する施設において、広場等の整備を行う場合に、アプローチに配慮した計画とする。また、園路についても、景観に配慮した計画とする。

VI 環境保全計画

1 . 環境保全に関する法令

環境保全計画は、火葬施設を建設・運営する上で重要な要素であるとともに、地元住民との合意形成を図る上で、本方針は重要である。

環境保全に関する法令を表 6-1 に示す。

更新する火葬施設は、表に示す法令の対象施設には該当しないため、遵守する必要はないが、環境保全計画を立案する上での目安として整理している。

表6-1 環境保全に関する法令

| | 法律名 | 制定年 |
|--|---|------------------|
| | 大気汚染防止法 | 昭和 43 年法律第 97 号 |
| | 騒音規制法 | 昭和 43 年法律第 98 号 |
| | 振動規制法 | 昭和 51 年法律第 64 号 |
| | 悪臭防止法 | 昭和 46 年法律第 91 号 |
| | 水質汚濁防止法 | 昭和 45 年法律第 138 号 |
| | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 昭和 45 年法律第 137 号 |
| | ダイオキシン類対策特別措置法 | 平成 11 年法律第 105 号 |
| | 火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針 (火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策検討会) | 平成 12 年 |

2. 環境保全目標値の設定

(1) 排ガスに関する目標値

排ガス濃度の目標値を表 6-2 に示す。

火葬炉の排ガス基準については大気汚染防止法の対象施設に該当しないため、「火葬炉設備の選定にかかるガイドラインの作成に関する研究（平成 2 年度厚生行政科学研究）」に示されたガイドラインをもとに目標値を設定した。

表6-2 排ガスの目標値

| 項目 | 目標値 | 参考値 |
|-----------------------------------|---------|----------|
| ばいじん量 (g/Nm ³) | 0.03 以下 | 0.03 以下 |
| 硫黄酸化物 (ppm) | 30 以下 | 30 以下 |
| 窒素酸化物 (ppm) | 100 以下 | 100 以下 |
| 塩化水素 (ppm) | 50 以下 | 50 以下 |
| ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³) | 1 以下 | 0.1~1 以下 |

出典：「火葬炉設備の選定にかかるガイドラインの作成に関する研究（平成2年度厚生行政科学研究）」

(2) 騒音に関する目標値

更新施設における騒音の目標値を表 6-3 に示す。

騒音の目標値は、福岡県において定められている規制基準を準拠したものである。なお、現在の敷地は第 2 種地域に指定されている。

表6-3 騒音の目標値

| 項目 | 規制時間帯 | 目標値 |
|------------------|-----------------|---------|
| 敷地境界線 第 2 種地域 | 午前 8 時から午後 7 時 | 60dB 以下 |
| | 午前 6 時から午前 8 時 | 50dB 以下 |
| | 午後 7 時から午後 11 時 | |
| | 午後 11 時から午前 6 時 | 50dB 以下 |

(3) 振動に関する目標値

更新施設における振動の目標値を表 6-4 に示す。

振動の目標値は、福岡県において定められている規制基準を準拠したものである。なお、現在の敷地は第 1 種地域に指定されている。

表6-4 振動の目標値

| 項目 | 規制時間帯 | 目標値 |
|------------------|----------------|---------|
| 敷地境界線 第 1 種地域 | 午前 8 時から午後 7 時 | 60dB 以下 |
| | 午後 7 時から午前 8 時 | 55dB 以下 |

(4) 悪臭に関する目標値

更新施設における悪臭の目標値を表 6-5 に示す。

敷地境界線上の悪臭の目標値については、福岡県において定められている規制基準を準拠したものであるとしている。排気筒出口の基準値は存在しないため、「火葬炉設備の選定にかかるガイドラインの作成に関する研究（平成 2 年度厚生行政科学研究）」に示されたガイドラインをもとに目標値を設定した。

表6-5 悪臭の目標値

| 項目 | 目標値 |
|--------|------------|
| 各排気筒出口 | 臭気指数：30 以下 |
| 敷地境界線上 | 臭気指数：12 以下 |

出典：「火葬炉設備の選定にかかるガイドラインの作成に関する研究（平成2年度厚生行政科学研究）」

Ⅶ 事業実施方針

1. 事業費

更新する施設の概算事業費を表 7-1 に示す。

建設費用については、最も簡素な仕様とした場合の事業費であることから、今後、具体的な事業計画及び建築計画が進むことにより、事業費は増加する可能性もある。

よって、実質的な事業費については、事業計画等が進んだ段階で実施設計及び火葬炉メーカーへの見積徴集などを行い、詳細費用を詰めていくものとする。

表7-1 概算事業費

| 工事種別 | 工種 | 数量 | 単位 | 単価 (千円) | 金額 (千円) | 備考 |
|------|-----------------|----------|----------------|----------------|------------|---------|
| 造成工事 | 敷地造成工 | 6,000 | m ² | 2 | 12,000 | 切土工 |
| | ブロック積工 | 112 | m | 100 | 11,200 | H=3.3m |
| | 洪水調整工 | 1 | 式 | - | 80,000 | - |
| | 小計 | | | | 103,200 | - |
| 建築工事 | 建築工 火葬棟 | 1,932 | m ² | 400 | 772,800 | - |
| | 建築工 待合棟・渡り廊下 | 1,114 | m ² | 200 | 222,800 | - |
| | 炉体工 大型炉 | 7 | 基 | 50,000 | 350,000 | - |
| | 小計 | | | | 1,345,600 | - |
| | 外構工事 | 舗装・外構整備工 | 12,000 | m ² | 10 | 120,000 |
| 造園工 | | 2,400 | m ² | 5 | 12,000 | - |
| 小計 | | | | 132,000 | - | |
| 解体工事 | 既設建物解体工 | 1,277 | m ² | 30 | 38,310 | 火葬炉解体含む |
| 合計 | | | | | 1,580,800 | - |

2 . 事業実施スケジュール

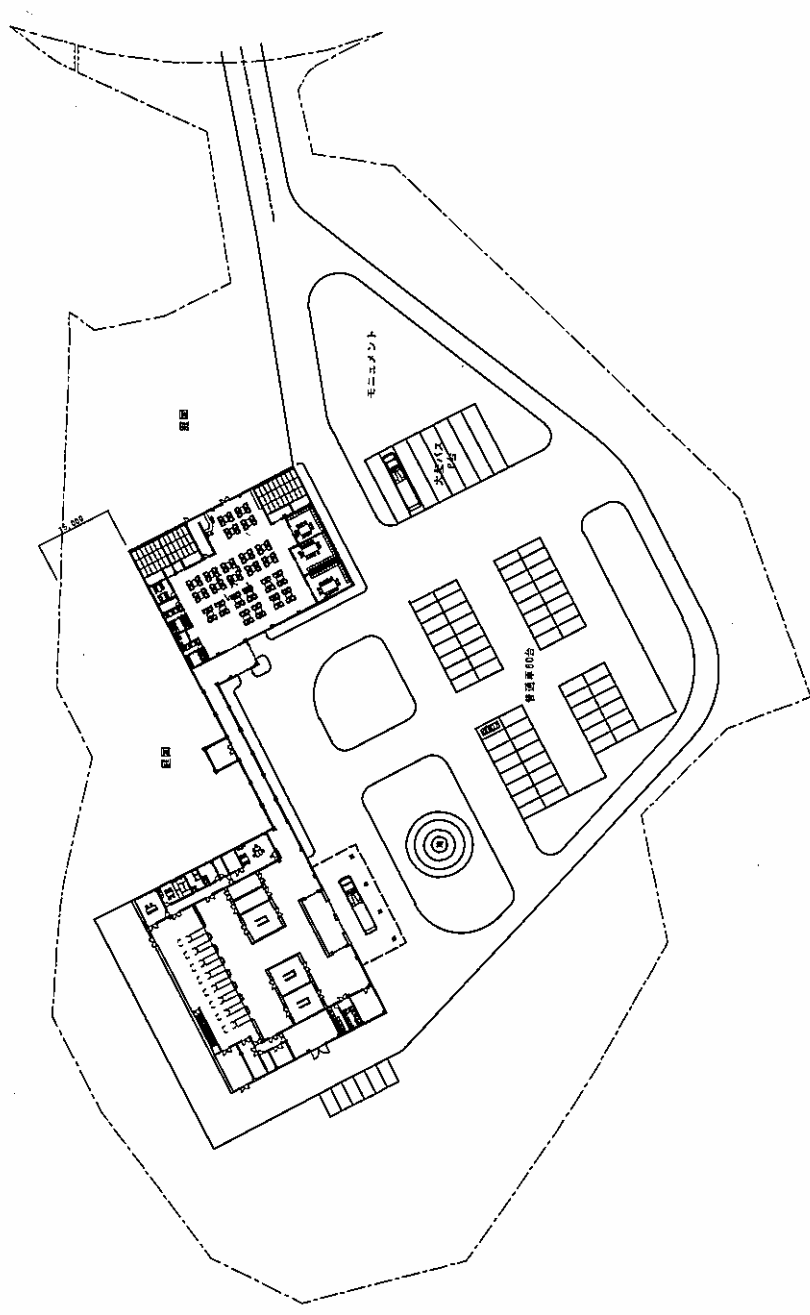
本事業全体の工程を、表 7-2 に示した。

表7-2 事業実施スケジュール（案）

| 項 目 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| PFI事業可能性調査 | ■ | | | | | |
| 法規制解除(必要に応じて) | ■ | ■ | | | | |
| 地元同意 | | ■ | | | | |
| 測量・地質調査 | | ■ | | | | |
| 林地開発協議(必要に応じて) | | | ■ | | | |
| 造成工事実施設計 | | | ■ | | | |
| 造成工事及び監理(本体工事) | | | | ■ | | |
| 火葬炉メーカー選定 | | | | ■ | | |
| 建築等実施設計 | | | | ■ | | |
| 火葬炉設備実施設計 | | | | ■ | | |
| 建築確認申請 | | | | ■ | | |
| 施設建設工事及び監理 | | | | | ■ | |
| 火葬炉設備工事及び監理 | | | | | ■ | |
| 解体工事設計 | | | | | ■ | |
| 解体工事及び監理 | | | | | | ■ |
| 造成工事及び監理(外構工事関係) | | | | | | ■ |

参 考 资 料

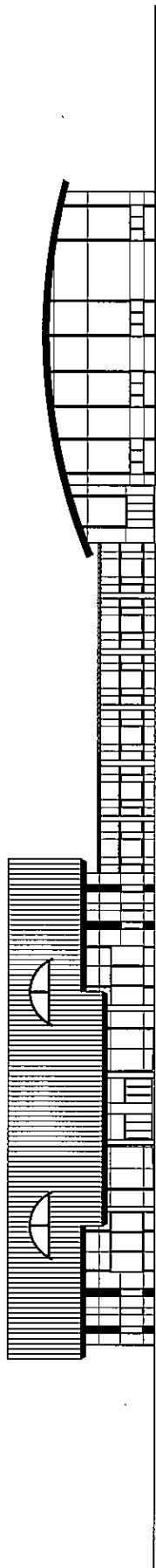
~ 配置図・平面図・立面図 ~



【配置図】

外構図 S-1/500

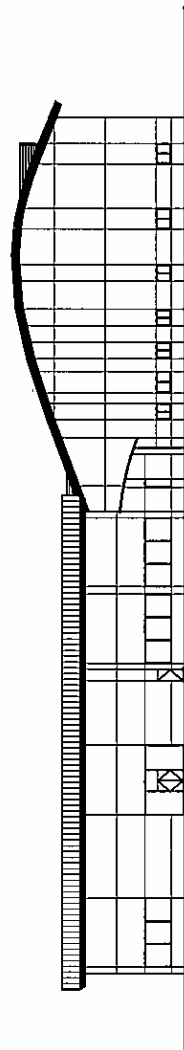
縮尺 1/100



南立面図 5-1-200

※外壁仕上げ—火災車・警号屋下・待合棟 花岡岩ジュートパーナー仕上 一部木部

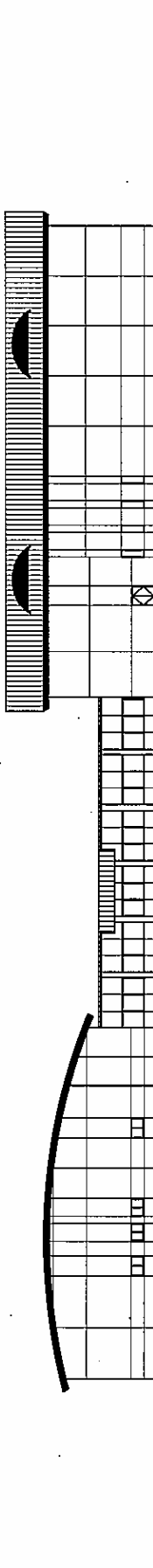
111



東立面図 5-1-200

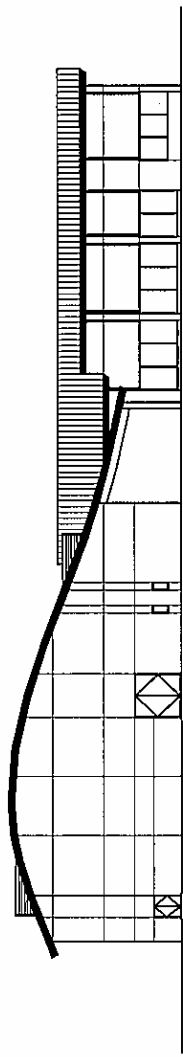
※外壁仕上げ—待合棟 花岡岩ジュートパーナー仕上
火災車—石調灰付（印地工法）

【立面図（南面・東面）】



北立面図 S=1:200

※外壁は上ー気持棟・張り簾下・待合棟 石調吹付（目地工法）



西立面図 S=1:200

※外壁は上ー貯合棟 花調吹付/バナー上ー住上 一部木階
気持棟一石調吹付（目地工法）

【立面図（北面・西面）】

参 考 資 料

～ 推計根拠データ～

【仮定値表：出生率 - 福岡県】

| 2005年 | 2005 | 10年 | 2010 | 15年 | 2015 | 20年 | 2020 | 25年 | 2025 | 30年 | 2030 | 35年 |
|--------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|
| 15～19歳 | | 0.00580 | | 0.00576 | | 0.00581 | | 0.00592 | | 0.00592 | | 0.00588 |
| 20～24歳 | | 0.03510 | | 0.03377 | | 0.03329 | | 0.03349 | | 0.03385 | | 0.03398 |
| 25～29歳 | | 0.08123 | | 0.07841 | | 0.07739 | | 0.07689 | | 0.07727 | | 0.07788 |
| 30～34歳 | | 0.08290 | | 0.08060 | | 0.07986 | | 0.08016 | | 0.08034 | | 0.08061 |
| 35～39歳 | | 0.03556 | | 0.03585 | | 0.03843 | | 0.03997 | | 0.04051 | | 0.04086 |
| 40～44歳 | | 0.00560 | | 0.00631 | | 0.00658 | | 0.00682 | | 0.00695 | | 0.00701 |
| 45～49歳 | | 0.00014 | | 0.00017 | | 0.00020 | | 0.00022 | | 0.00023 | | 0.00024 |

資料：都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計），国立社会保障・人口問題研究所

| 2000年 | 2000 | 5年 | 2005 | 10年 | 2010 | 15年 | 2015 | 20年 | 2020 | 25年 | 2025 | 30年 |
|--------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|
| 15～19歳 | | 0.00643 | | 0.00638 | | 0.00627 | | 0.00630 | | 0.00634 | | 0.00635 |
| 20～24歳 | | 0.03902 | | 0.03795 | | 0.03743 | | 0.03705 | | 0.03699 | | 0.03701 |
| 25～29歳 | | 0.09171 | | 0.08380 | | 0.08032 | | 0.07937 | | 0.07885 | | 0.07877 |
| 30～34歳 | | 0.08934 | | 0.08505 | | 0.08477 | | 0.08537 | | 0.08571 | | 0.08596 |
| 35～39歳 | | 0.03625 | | 0.04079 | | 0.04406 | | 0.04647 | | 0.04757 | | 0.04805 |
| 40～44歳 | | 0.00588 | | 0.00936 | | 0.01303 | | 0.01601 | | 0.01741 | | 0.01783 |
| 45～49歳 | | 0.00021 | | 0.00056 | | 0.00114 | | 0.00194 | | 0.00257 | | 0.00282 |

資料：都道府県別将来推計人口（平成14年3月推計），国立社会保障・人口問題研究所

【仮定値表：生存率 - 福岡県】

| 項目 | | 2005 | 10年 | 2010 | 15年 | 2015 | 20年 | 2020 | 25年 | 2025 | 30年 | 2030 | 35年 |
|---------------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 男 性 | 出生 0～4歳 | 0.99695 | | 0.99719 | | 0.99743 | | 0.99761 | | 0.99776 | | 0.99788 | |
| | 0～4歳 5～9歳 | 0.99900 | | 0.99909 | | 0.99917 | | 0.99923 | | 0.99928 | | 0.99932 | |
| | 5～9歳 10～14歳 | 0.99941 | | 0.99947 | | 0.99951 | | 0.99955 | | 0.99958 | | 0.99960 | |
| | 10～14歳 15～19歳 | 0.99893 | | 0.99896 | | 0.99902 | | 0.99907 | | 0.99911 | | 0.99915 | |
| | 15～19歳 20～24歳 | 0.99755 | | 0.99763 | | 0.99774 | | 0.99783 | | 0.99791 | | 0.99798 | |
| | 20～24歳 25～29歳 | 0.99693 | | 0.99706 | | 0.99716 | | 0.99724 | | 0.99732 | | 0.99738 | |
| | 25～29歳 30～34歳 | 0.99622 | | 0.99636 | | 0.99649 | | 0.99660 | | 0.99670 | | 0.99679 | |
| | 30～34歳 35～39歳 | 0.99509 | | 0.99528 | | 0.99546 | | 0.99562 | | 0.99575 | | 0.99587 | |
| | 35～39歳 40～44歳 | 0.99289 | | 0.99330 | | 0.99362 | | 0.99389 | | 0.99412 | | 0.99432 | |
| | 40～44歳 45～49歳 | 0.98879 | | 0.98965 | | 0.99025 | | 0.99076 | | 0.99119 | | 0.99156 | |
| | 45～49歳 50～54歳 | 0.98188 | | 0.98343 | | 0.98454 | | 0.98546 | | 0.98625 | | 0.98693 | |
| | 50～54歳 55～59歳 | 0.97102 | | 0.97329 | | 0.97502 | | 0.97654 | | 0.97787 | | 0.97905 | |
| | 55～59歳 60～64歳 | 0.95621 | | 0.95932 | | 0.96147 | | 0.96335 | | 0.96502 | | 0.96652 | |
| | 60～64歳 65～69歳 | 0.93556 | | 0.93997 | | 0.94332 | | 0.94611 | | 0.94847 | | 0.95050 | |
| | 65～69歳 70～74歳 | 0.89805 | | 0.90527 | | 0.91142 | | 0.91667 | | 0.92116 | | 0.92503 | |
| | 70～74歳 75～79歳 | 0.83970 | | 0.85174 | | 0.86058 | | 0.86807 | | 0.87449 | | 0.88006 | |
| | 75～79歳 80～84歳 | 0.75338 | | 0.77279 | | 0.78622 | | 0.79748 | | 0.80694 | | 0.81496 | |
| 80～84歳 85～89歳 | 0.62433 | | 0.64991 | | 0.66885 | | 0.68508 | | 0.69891 | | 0.71074 | | |
| 85歳以上 90歳以上 | 0.39008 | | 0.41018 | | 0.42453 | | 0.43697 | | 0.44774 | | 0.45715 | | |
| 女 性 | 出生 0～4歳 | 0.99702 | | 0.99719 | | 0.99741 | | 0.99760 | | 0.99775 | | 0.99789 | |
| | 0～4歳 5～9歳 | 0.99913 | | 0.99918 | | 0.99925 | | 0.99930 | | 0.99934 | | 0.99938 | |
| | 5～9歳 10～14歳 | 0.99962 | | 0.99963 | | 0.99966 | | 0.99968 | | 0.99969 | | 0.99971 | |
| | 10～14歳 15～19歳 | 0.99945 | | 0.99946 | | 0.99948 | | 0.99950 | | 0.99951 | | 0.99953 | |
| | 15～19歳 20～24歳 | 0.99896 | | 0.99902 | | 0.99905 | | 0.99908 | | 0.99910 | | 0.99911 | |
| | 20～24歳 25～29歳 | 0.99874 | | 0.99885 | | 0.99889 | | 0.99892 | | 0.99894 | | 0.99896 | |
| | 25～29歳 30～34歳 | 0.99837 | | 0.99847 | | 0.99853 | | 0.99859 | | 0.99863 | | 0.99867 | |
| | 30～34歳 35～39歳 | 0.99763 | | 0.99779 | | 0.99788 | | 0.99796 | | 0.99803 | | 0.99809 | |
| | 35～39歳 40～44歳 | 0.99659 | | 0.99683 | | 0.99697 | | 0.99709 | | 0.99719 | | 0.99728 | |
| | 40～44歳 45～49歳 | 0.99456 | | 0.99500 | | 0.99528 | | 0.99551 | | 0.99571 | | 0.99588 | |
| | 45～49歳 50～54歳 | 0.99168 | | 0.99237 | | 0.99281 | | 0.99318 | | 0.99349 | | 0.99376 | |
| | 50～54歳 55～59歳 | 0.98765 | | 0.98853 | | 0.98912 | | 0.98962 | | 0.99006 | | 0.99045 | |
| | 55～59歳 60～64歳 | 0.98216 | | 0.98339 | | 0.98417 | | 0.98482 | | 0.98538 | | 0.98586 | |
| | 60～64歳 65～69歳 | 0.97362 | | 0.97566 | | 0.97717 | | 0.97842 | | 0.97946 | | 0.98034 | |
| | 65～69歳 70～74歳 | 0.95807 | | 0.96159 | | 0.96427 | | 0.96648 | | 0.96834 | | 0.96991 | |
| | 70～74歳 75～79歳 | 0.92872 | | 0.93533 | | 0.93996 | | 0.94374 | | 0.94689 | | 0.94956 | |
| | 75～79歳 80～84歳 | 0.87462 | | 0.88604 | | 0.89481 | | 0.90192 | | 0.90779 | | 0.91267 | |
| 80～84歳 85～89歳 | 0.77308 | | 0.79207 | | 0.80652 | | 0.81847 | | 0.82847 | | 0.83696 | | |
| 85歳以上 90歳以上 | 0.49376 | | 0.50971 | | 0.52226 | | 0.53284 | | 0.54184 | | 0.54962 | | |

資料：都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計），国立社会保障・人口問題研究所

【仮定値表：死亡率 - 福岡県】

| 項目 | | 2005 | 10年 | 2010 | 15年 | 2015 | 20年 | 2020 | 25年 | 2025 | 30年 | 2030 | 35年 |
|---------------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 男 性 | 出生 0～4歳 | 0.00305 | | 0.00281 | | 0.00257 | | 0.00239 | | 0.00224 | | 0.00212 | |
| | 0～4歳 5～9歳 | 0.00100 | | 0.00091 | | 0.00083 | | 0.00077 | | 0.00072 | | 0.00068 | |
| | 5～9歳 10～14歳 | 0.00059 | | 0.00053 | | 0.00049 | | 0.00045 | | 0.00042 | | 0.00040 | |
| | 10～14歳 15～19歳 | 0.00107 | | 0.00104 | | 0.00098 | | 0.00093 | | 0.00089 | | 0.00085 | |
| | 15～19歳 20～24歳 | 0.00245 | | 0.00237 | | 0.00226 | | 0.00217 | | 0.00209 | | 0.00202 | |
| | 20～24歳 25～29歳 | 0.00307 | | 0.00294 | | 0.00284 | | 0.00276 | | 0.00268 | | 0.00262 | |
| | 25～29歳 30～34歳 | 0.00378 | | 0.00364 | | 0.00351 | | 0.00340 | | 0.00330 | | 0.00321 | |
| | 30～34歳 35～39歳 | 0.00491 | | 0.00472 | | 0.00454 | | 0.00438 | | 0.00425 | | 0.00413 | |
| | 35～39歳 40～44歳 | 0.00711 | | 0.00670 | | 0.00638 | | 0.00611 | | 0.00588 | | 0.00568 | |
| | 40～44歳 45～49歳 | 0.01121 | | 0.01035 | | 0.00975 | | 0.00924 | | 0.00881 | | 0.00844 | |
| | 45～49歳 50～54歳 | 0.01812 | | 0.01657 | | 0.01546 | | 0.01454 | | 0.01375 | | 0.01307 | |
| | 50～54歳 55～59歳 | 0.02898 | | 0.02671 | | 0.02498 | | 0.02346 | | 0.02213 | | 0.02095 | |
| | 55～59歳 60～64歳 | 0.04379 | | 0.04068 | | 0.03853 | | 0.03665 | | 0.03498 | | 0.03348 | |
| | 60～64歳 65～69歳 | 0.06444 | | 0.06003 | | 0.05668 | | 0.05389 | | 0.05153 | | 0.04950 | |
| | 65～69歳 70～74歳 | 0.10195 | | 0.09473 | | 0.08858 | | 0.08333 | | 0.07884 | | 0.07497 | |
| | 70～74歳 75～79歳 | 0.16030 | | 0.14826 | | 0.13942 | | 0.13193 | | 0.12551 | | 0.11994 | |
| | 75～79歳 80～84歳 | 0.24662 | | 0.22721 | | 0.21378 | | 0.20252 | | 0.19306 | | 0.18504 | |
| 80～84歳 85～89歳 | 0.37567 | | 0.35009 | | 0.33115 | | 0.31492 | | 0.30109 | | 0.28926 | | |
| 85歳以上 90歳以上 | 0.60992 | | 0.58982 | | 0.57547 | | 0.56303 | | 0.55226 | | 0.54285 | | |
| 女 性 | 出生 0～4歳 | 0.00298 | | 0.00281 | | 0.00259 | | 0.00240 | | 0.00225 | | 0.00211 | |
| | 0～4歳 5～9歳 | 0.00087 | | 0.00082 | | 0.00075 | | 0.00070 | | 0.00066 | | 0.00062 | |
| | 5～9歳 10～14歳 | 0.00038 | | 0.00037 | | 0.00034 | | 0.00032 | | 0.00031 | | 0.00029 | |
| | 10～14歳 15～19歳 | 0.00055 | | 0.00054 | | 0.00052 | | 0.00050 | | 0.00049 | | 0.00047 | |
| | 15～19歳 20～24歳 | 0.00104 | | 0.00098 | | 0.00095 | | 0.00092 | | 0.00090 | | 0.00089 | |
| | 20～24歳 25～29歳 | 0.00126 | | 0.00115 | | 0.00111 | | 0.00108 | | 0.00106 | | 0.00104 | |
| | 25～29歳 30～34歳 | 0.00163 | | 0.00153 | | 0.00147 | | 0.00141 | | 0.00137 | | 0.00133 | |
| | 30～34歳 35～39歳 | 0.00237 | | 0.00221 | | 0.00212 | | 0.00204 | | 0.00197 | | 0.00191 | |
| | 35～39歳 40～44歳 | 0.00341 | | 0.00317 | | 0.00303 | | 0.00291 | | 0.00281 | | 0.00272 | |
| | 40～44歳 45～49歳 | 0.00544 | | 0.00500 | | 0.00472 | | 0.00449 | | 0.00429 | | 0.00412 | |
| | 45～49歳 50～54歳 | 0.00832 | | 0.00763 | | 0.00719 | | 0.00682 | | 0.00651 | | 0.00624 | |
| | 50～54歳 55～59歳 | 0.01235 | | 0.01147 | | 0.01088 | | 0.01038 | | 0.00994 | | 0.00955 | |
| | 55～59歳 60～64歳 | 0.01784 | | 0.01661 | | 0.01583 | | 0.01518 | | 0.01462 | | 0.01414 | |
| | 60～64歳 65～69歳 | 0.02638 | | 0.02434 | | 0.02283 | | 0.02158 | | 0.02054 | | 0.01966 | |
| | 65～69歳 70～74歳 | 0.04193 | | 0.03841 | | 0.03573 | | 0.03352 | | 0.03166 | | 0.03009 | |
| | 70～74歳 75～79歳 | 0.07128 | | 0.06467 | | 0.06004 | | 0.05626 | | 0.05311 | | 0.05044 | |
| | 75～79歳 80～84歳 | 0.12538 | | 0.11396 | | 0.10519 | | 0.09808 | | 0.09221 | | 0.08733 | |
| 80～84歳 85～89歳 | 0.22692 | | 0.20793 | | 0.19348 | | 0.18153 | | 0.17153 | | 0.16304 | | |
| 85歳以上 90歳以上 | 0.50624 | | 0.49029 | | 0.47774 | | 0.46716 | | 0.45816 | | 0.45038 | | |

資料：都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計），国立社会保障・人口問題研究所

【推計結果：平成 17 年度】

2005 H17 純移動率補正用（H12推計使用）

| | 男性 | | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|----------|-------------|-------------|
| | H12 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 純移動率 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 3,036 | 3,025 | 3,025 | -0.06410 | 11 | 2 |
| 5～9 | 2,960 | | | | | 2,960 | 0.09403 | 4 | 1 |
| 10～14 | 3,517 | | | | | 3,517 | 0.02852 | 3 | 1 |
| 15～19 | 4,166 | | | 70 | | 4,166 | -0.02723 | 6 | 1 |
| 20～24 | 4,651 | | | 447 | | 4,651 | -0.21764 | 13 | 3 |
| 25～29 | 3,989 | | | 1,085 | | 3,989 | 0.01149 | 13 | 3 |
| 30～34 | 4,508 | | | 996 | | 4,508 | -0.01836 | 18 | 4 |
| 35～39 | 3,466 | | | 370 | | 3,466 | 0.02233 | 19 | 4 |
| 40～44 | 3,555 | | | 65 | | 3,555 | 0.01075 | 28 | 6 |
| 45～49 | 4,042 | | | 3 | | 4,042 | 0.00684 | 52 | 10 |
| 50～54 | 5,302 | | | | | 5,302 | -0.00033 | 109 | 22 |
| 55～59 | 5,889 | | | | | 5,889 | 0.00342 | 193 | 39 |
| 60～64 | 5,008 | | | | | 5,008 | 0.05759 | 257 | 51 |
| 65～69 | 4,317 | | | | | 4,317 | 0.02308 | 354 | 71 |
| 70～74 | 3,453 | | | | | 3,453 | 0.02283 | 447 | 89 |
| 75～79 | 3,085 | | | | | 3,085 | 0.02194 | 638 | 128 |
| 80～84 | 1,672 | | | | | 1,672 | 0.02762 | 607 | 121 |
| 85～89 | 715 | | | | | 715 | -0.03602 | 480 | 96 |
| 90～ | 281 | | | | | 281 | 0.17714 | 477 | 95 |

| | 女性 | | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|----------|-------------|-------------|
| | H12 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 純移動率 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 5,915 | 2,879 | 2,869 | 2,869 | -0.02336 | 10 | 2 |
| 5～9 | 2,821 | | | | | 2,821 | 0.06902 | 4 | 1 |
| 10～14 | 3,346 | | | | | 3,346 | 0.02202 | 1 | 0 |
| 15～19 | 3,993 | 4,244 | 136 | 66 | | 3,993 | -0.03092 | 3 | 1 |
| 20～24 | 4,490 | 4,470 | 872 | 425 | | 4,490 | -0.15756 | 5 | 1 |
| 25～29 | 4,443 | 4,612 | 2,115 | 1,030 | | 4,443 | -0.03535 | 6 | 1 |
| 30～34 | 4,772 | 4,343 | 1,940 | 944 | | 4,772 | -0.03373 | 9 | 2 |
| 35～39 | 3,904 | 3,978 | 721 | 351 | | 3,904 | 0.03579 | 10 | 2 |
| 40～44 | 4,036 | 4,292 | 126 | 61 | | 4,036 | 0.00880 | 15 | 3 |
| 45～49 | 4,519 | 5,100 | 5 | 2 | | 4,519 | 0.00299 | 28 | 6 |
| 50～54 | 5,626 | | | | | 5,626 | 0.01124 | 54 | 11 |
| 55～59 | 6,668 | | | | | 6,668 | 0.02011 | 91 | 18 |
| 60～64 | 5,556 | | | | | 5,556 | 0.02136 | 112 | 22 |
| 65～69 | 5,037 | | | | | 5,037 | 0.00345 | 160 | 32 |
| 70～74 | 4,966 | | | | | 4,966 | 0.02249 | 253 | 51 |
| 75～79 | 4,086 | | | | | 4,086 | 0.02790 | 361 | 72 |
| 80～84 | 2,948 | | | | | 2,948 | -0.01157 | 493 | 99 |
| 85～89 | 1,629 | | | | | 1,629 | 0.02306 | 532 | 106 |
| 90～ | 951 | | | | | 951 | 0.03583 | 964 | 193 |

総人口 144,261 0.15547 6,840 1,370

【推計結果：平成 27 年度】

2015 H27

| | 男性 | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H22 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 2,271 | 2,119 | 2,119 | 6 | 1 |
| 5～9 | 2,260 | | | | | 2,260 | 2 | 0 |
| 10～14 | 2,898 | | | | | 2,898 | 1 | 0 |
| 15～19 | 3,698 | | | 47 | | 3,698 | 4 | 1 |
| 20～24 | 3,625 | | | 262 | | 3,625 | 9 | 2 |
| 25～29 | 3,055 | | | 681 | | 3,055 | 12 | 2 |
| 30～34 | 2,969 | | | 790 | | 2,969 | 11 | 2 |
| 35～39 | 3,978 | | | 417 | | 3,978 | 19 | 4 |
| 40～44 | 4,409 | | | 72 | | 4,409 | 29 | 6 |
| 45～49 | 3,601 | | | 2 | | 3,601 | 37 | 7 |
| 50～54 | 3,562 | | | | | 3,562 | 60 | 12 |
| 55～59 | 3,924 | | | | | 3,924 | 108 | 22 |
| 60～64 | 4,953 | | | | | 4,953 | 209 | 42 |
| 65～69 | 5,655 | | | | | 5,655 | 340 | 68 |
| 70～74 | 4,865 | | | | | 4,865 | 496 | 99 |
| 75～79 | 3,550 | | | | | 3,550 | 602 | 120 |
| 80～84 | 2,426 | | | | | 2,426 | 693 | 139 |
| 85～89 | 1,647 | | | | | 1,647 | 851 | 170 |
| 90～ | 630 | | | | | 630 | 993 | 199 |

| | 女性 | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H22 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 4,424 | 2,153 | 2,097 | 2,097 | 6 | 1 |
| 5～9 | 2,556 | | | | | 2,556 | 2 | 0 |
| 10～14 | 3,059 | | | | | 3,059 | 1 | 0 |
| 15～19 | 3,020 | 3,173 | 91 | 44 | | 3,020 | 2 | 0 |
| 20～24 | 2,799 | 3,021 | 510 | 248 | | 2,799 | 3 | 1 |
| 25～29 | 3,125 | 3,388 | 1,328 | 647 | | 3,125 | 4 | 1 |
| 30～34 | 3,521 | 3,822 | 1,540 | 750 | | 3,521 | 6 | 1 |
| 35～39 | 4,261 | 4,528 | 812 | 395 | | 4,261 | 9 | 2 |
| 40～44 | 4,822 | 4,447 | 140 | 68 | | 4,822 | 15 | 3 |
| 45～49 | 4,063 | 4,065 | 3 | 1 | | 4,063 | 20 | 4 |
| 50～54 | 4,081 | | | | | 4,081 | 31 | 6 |
| 55～59 | 4,588 | | | | | 4,588 | 52 | 10 |
| 60～64 | 5,773 | | | | | 5,773 | 95 | 19 |
| 65～69 | 6,664 | | | | | 6,664 | 166 | 33 |
| 70～74 | 5,449 | | | | | 5,449 | 213 | 43 |
| 75～79 | 4,775 | | | | | 4,775 | 321 | 64 |
| 80～84 | 4,238 | | | | | 4,238 | 552 | 110 |
| 85～89 | 2,942 | | | | | 2,942 | 750 | 150 |
| 90～ | 2,030 | | | | | 2,030 | 1,824 | 365 |

総人口 137,687 8,554 1,709

【推計結果：平成 32 年度】

2020 H32

| | 男性 | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H27 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 1,989 | 1,856 | 1,856 | 5 | 1 |
| 5～9 | 1,981 | | | | | 1,981 | 2 | 0 |
| 10～14 | 2,471 | | | | | 2,471 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,978 | | | 45 | | 2,978 | 3 | 1 |
| 20～24 | 3,589 | | | 228 | | 3,589 | 8 | 2 |
| 25～29 | 2,826 | | | 578 | | 2,826 | 10 | 2 |
| 30～34 | 3,079 | | | 670 | | 3,079 | 11 | 2 |
| 35～39 | 2,901 | | | 389 | | 2,901 | 13 | 3 |
| 40～44 | 4,041 | | | 77 | | 4,041 | 25 | 5 |
| 45～49 | 4,413 | | | 2 | | 4,413 | 43 | 9 |
| 50～54 | 3,570 | | | | | 3,570 | 56 | 11 |
| 55～59 | 3,472 | | | | | 3,472 | 89 | 18 |
| 60～64 | 3,786 | | | | | 3,786 | 151 | 30 |
| 65～69 | 4,958 | | | | | 4,958 | 281 | 56 |
| 70～74 | 5,285 | | | | | 5,285 | 501 | 100 |
| 75～79 | 4,298 | | | | | 4,298 | 678 | 136 |
| 80～84 | 2,869 | | | | | 2,869 | 759 | 152 |
| 85～89 | 1,690 | | | | | 1,690 | 803 | 161 |
| 90～ | 885 | | | | | 885 | 1,310 | 262 |

| | 女性 | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H27 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 3,875 | 1,886 | 1,837 | 1,837 | 5 | 1 |
| 5～9 | 2,240 | | | | | 2,240 | 2 | 0 |
| 10～14 | 2,611 | | | | | 2,611 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,963 | 2,992 | 87 | 42 | | 2,963 | 2 | 0 |
| 20～24 | 2,541 | 2,670 | 444 | 216 | | 2,541 | 3 | 1 |
| 25～29 | 2,697 | 2,911 | 1,126 | 548 | | 2,697 | 3 | 1 |
| 30～34 | 3,015 | 3,268 | 1,305 | 635 | | 3,015 | 5 | 1 |
| 35～39 | 3,640 | 3,951 | 759 | 370 | | 3,640 | 7 | 1 |
| 40～44 | 4,286 | 4,554 | 150 | 73 | | 4,286 | 13 | 3 |
| 45～49 | 4,814 | 4,439 | 4 | 2 | | 4,814 | 23 | 5 |
| 50～54 | 4,079 | | | | | 4,079 | 29 | 6 |
| 55～59 | 4,119 | | | | | 4,119 | 44 | 9 |
| 60～64 | 4,613 | | | | | 4,613 | 73 | 15 |
| 65～69 | 5,661 | | | | | 5,661 | 132 | 26 |
| 70～74 | 6,576 | | | | | 6,576 | 238 | 48 |
| 75～79 | 5,274 | | | | | 5,274 | 327 | 65 |
| 80～84 | 4,217 | | | | | 4,217 | 502 | 100 |
| 85～89 | 3,516 | | | | | 3,516 | 820 | 164 |
| 90～ | 2,775 | | | | | 2,775 | 2,375 | 475 |

総人口 132,422 9,353 1,872

【推計結果：平成 37 年度】

2025 H37

| | 男性 | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H32 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 1,762 | 1,645 | 1,645 | 4 | 1 |
| 5～9 | 1,736 | | | | | 1,736 | 1 | 0 |
| 10～14 | 2,166 | | | | | 2,166 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,539 | | | 42 | | 2,539 | 2 | 0 |
| 20～24 | 2,890 | | | 216 | | 2,890 | 6 | 1 |
| 25～29 | 2,798 | | | 508 | | 2,798 | 10 | 2 |
| 30～34 | 2,849 | | | 578 | | 2,849 | 10 | 2 |
| 35～39 | 3,009 | | | 346 | | 3,009 | 13 | 3 |
| 40～44 | 2,948 | | | 69 | | 2,948 | 18 | 4 |
| 45～49 | 4,047 | | | 3 | | 4,047 | 37 | 7 |
| 50～54 | 4,379 | | | | | 4,379 | 64 | 13 |
| 55～59 | 3,485 | | | | | 3,485 | 84 | 17 |
| 60～64 | 3,357 | | | | | 3,357 | 127 | 25 |
| 65～69 | 3,800 | | | | | 3,800 | 204 | 41 |
| 70～74 | 4,659 | | | | | 4,659 | 413 | 83 |
| 75～79 | 4,708 | | | | | 4,708 | 697 | 139 |
| 80～84 | 3,522 | | | | | 3,522 | 870 | 174 |
| 85～89 | 2,045 | | | | | 2,045 | 904 | 181 |
| 90～ | 1,032 | | | | | 1,032 | 1,450 | 290 |

| | 女性 | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H32 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 3,432 | 1,670 | 1,627 | 1,627 | 4 | 1 |
| 5～9 | 1,963 | | | | | 1,963 | 1 | 0 |
| 10～14 | 2,289 | | | | | 2,289 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,529 | 2,746 | 81 | 39 | | 2,529 | 1 | 0 |
| 20～24 | 2,493 | 2,517 | 421 | 205 | | 2,493 | 3 | 1 |
| 25～29 | 2,448 | 2,573 | 989 | 481 | | 2,448 | 3 | 1 |
| 30～34 | 2,602 | 2,809 | 1,126 | 548 | | 2,602 | 4 | 1 |
| 35～39 | 3,117 | 3,379 | 675 | 329 | | 3,117 | 6 | 1 |
| 40～44 | 3,661 | 3,974 | 135 | 66 | | 3,661 | 11 | 2 |
| 45～49 | 4,280 | 4,547 | 5 | 2 | | 4,280 | 19 | 4 |
| 50～54 | 4,835 | | | | | 4,835 | 33 | 7 |
| 55～59 | 4,119 | | | | | 4,119 | 42 | 8 |
| 60～64 | 4,144 | | | | | 4,144 | 63 | 13 |
| 65～69 | 4,529 | | | | | 4,529 | 100 | 20 |
| 70～74 | 5,599 | | | | | 5,599 | 190 | 38 |
| 75～79 | 6,390 | | | | | 6,390 | 370 | 74 |
| 80～84 | 4,696 | | | | | 4,696 | 517 | 103 |
| 85～89 | 3,549 | | | | | 3,549 | 766 | 153 |
| 90～ | 3,578 | | | | | 3,578 | 2,939 | 588 |

総人口 126,062 9,988 1,998

【推計結果：平成 42 年度】

| | |
|------|-----|
| 2030 | H42 |
|------|-----|

| | 男性 | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H37 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 1,596 | 1,490 | 1,490 | 4 | 1 |
| 5～9 | 1,538 | | | | | 1,538 | 1 | 0 |
| 10～14 | 1,899 | | | | | 1,899 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,226 | | | 36 | | 2,226 | 2 | 0 |
| 20～24 | 2,465 | | | 201 | | 2,465 | 5 | 1 |
| 25～29 | 2,253 | | | 481 | | 2,253 | 8 | 2 |
| 30～34 | 2,821 | | | 512 | | 2,821 | 9 | 2 |
| 35～39 | 2,785 | | | 302 | | 2,785 | 12 | 2 |
| 40～44 | 3,058 | | | 61 | | 3,058 | 18 | 4 |
| 45～49 | 2,954 | | | 3 | | 2,954 | 26 | 5 |
| 50～54 | 4,019 | | | | | 4,019 | 56 | 11 |
| 55～59 | 4,281 | | | | | 4,281 | 97 | 19 |
| 60～64 | 3,375 | | | | | 3,375 | 122 | 24 |
| 65～69 | 3,377 | | | | | 3,377 | 173 | 35 |
| 70～74 | 3,588 | | | | | 3,588 | 300 | 60 |
| 75～79 | 4,181 | | | | | 4,181 | 585 | 117 |
| 80～84 | 3,902 | | | | | 3,902 | 909 | 182 |
| 85～89 | 2,559 | | | | | 2,559 | 1,060 | 212 |
| 90～ | 1,267 | | | | | 1,267 | 1,699 | 340 |

| | 女性 | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H37 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 3,106 | 1,510 | 1,471 | 1,471 | 3 | 1 |
| 5～9 | 1,738 | | | | | 1,738 | 1 | 0 |
| 10～14 | 2,006 | | | | | 2,006 | 1 | 0 |
| 15～19 | 2,217 | 2,373 | 70 | 34 | | 2,217 | 1 | 0 |
| 20～24 | 2,128 | 2,311 | 391 | 190 | | 2,128 | 2 | 0 |
| 25～29 | 2,402 | 2,425 | 937 | 456 | | 2,402 | 3 | 1 |
| 30～34 | 2,362 | 2,482 | 997 | 485 | | 2,362 | 3 | 1 |
| 35～39 | 2,690 | 2,904 | 588 | 286 | | 2,690 | 5 | 1 |
| 40～44 | 3,136 | 3,399 | 118 | 57 | | 3,136 | 9 | 2 |
| 45～49 | 3,656 | 3,968 | 5 | 2 | | 3,656 | 16 | 3 |
| 50～54 | 4,300 | | | | | 4,300 | 28 | 6 |
| 55～59 | 4,884 | | | | | 4,884 | 48 | 10 |
| 60～64 | 4,147 | | | | | 4,147 | 60 | 12 |
| 65～69 | 4,073 | | | | | 4,073 | 85 | 17 |
| 70～74 | 4,487 | | | | | 4,487 | 143 | 29 |
| 75～79 | 5,458 | | | | | 5,458 | 297 | 59 |
| 80～84 | 5,727 | | | | | 5,727 | 589 | 118 |
| 85～89 | 3,999 | | | | | 3,999 | 806 | 161 |
| 90～ | 4,117 | | | | | 4,117 | 3,265 | 653 |

| | | | |
|-----|---------|--------|-------|
| 総人口 | 119,036 | 10,452 | 2,091 |
|-----|---------|--------|-------|

【推計結果：平成 47 年度】

2035 H47

| | 男性 | | | | | | | |
|-------|-------------|---|---|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H42 生存人口 | - | - | 出産男児 | 生存男児 | 生存男性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | | 1,457 | 1,361 | 1,361 | 3 | 1 |
| 5～9 | 1,393 | | | | | 1,393 | 1 | 0 |
| 10～14 | 1,682 | | | | | 1,682 | 1 | 0 |
| 15～19 | 1,952 | | | 31 | | 1,952 | 2 | 0 |
| 20～24 | 2,161 | | | 174 | | 2,161 | 4 | 1 |
| 25～29 | 1,922 | | | 445 | | 1,922 | 6 | 1 |
| 30～34 | 2,272 | | | 484 | | 2,272 | 7 | 1 |
| 35～39 | 2,758 | | | 269 | | 2,758 | 12 | 2 |
| 40～44 | 2,831 | | | 52 | | 2,831 | 16 | 3 |
| 45～49 | 3,065 | | | 2 | | 3,065 | 26 | 5 |
| 50～54 | 2,936 | | | | | 2,936 | 39 | 8 |
| 55～59 | 3,933 | | | | | 3,933 | 84 | 17 |
| 60～64 | 4,152 | | | | | 4,152 | 143 | 29 |
| 65～69 | 3,402 | | | | | 3,402 | 167 | 33 |
| 70～74 | 3,202 | | | | | 3,202 | 253 | 51 |
| 75～79 | 3,240 | | | | | 3,240 | 430 | 86 |
| 80～84 | 3,499 | | | | | 3,499 | 774 | 155 |
| 85～89 | 2,881 | | | | | 2,881 | 1,129 | 226 |
| 90～ | 1,611 | | | | | 1,611 | 2,077 | 415 |

| | 女性 | | | | | | | |
|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|
| | H37 生存人口 | 出産対象 人口 | 出産総数 | 出産女子 | 生存女子 | 生存女性 | 死亡者数 5年間 | 死亡者数 1年間 |
| 0～4 | | | 2,840 | 1,383 | 1,348 | 1,348 | 3 | 1 |
| 5～9 | 1,572 | | | | | 1,572 | 1 | 0 |
| 10～14 | 1,776 | | | | | 1,776 | 1 | 0 |
| 15～19 | 1,943 | 2,080 | 61 | 30 | | 1,943 | 1 | 0 |
| 20～24 | 1,866 | 1,997 | 339 | 165 | | 1,866 | 2 | 0 |
| 25～29 | 2,051 | 2,227 | 867 | 422 | | 2,051 | 2 | 0 |
| 30～34 | 2,318 | 2,340 | 943 | 459 | | 2,318 | 3 | 1 |
| 35～39 | 2,442 | 2,566 | 524 | 255 | | 2,442 | 5 | 1 |
| 40～44 | 2,706 | 2,921 | 102 | 50 | | 2,706 | 7 | 1 |
| 45～49 | 3,132 | 3,394 | 4 | 2 | | 3,132 | 13 | 3 |
| 50～54 | 3,674 | | | | | 3,674 | 23 | 5 |
| 55～59 | 4,345 | | | | | 4,345 | 41 | 8 |
| 60～64 | 4,919 | | | | | 4,919 | 69 | 14 |
| 65～69 | 4,080 | | | | | 4,080 | 82 | 16 |
| 70～74 | 4,042 | | | | | 4,042 | 123 | 25 |
| 75～79 | 4,386 | | | | | 4,386 | 226 | 45 |
| 80～84 | 4,918 | | | | | 4,918 | 477 | 95 |
| 85～89 | 4,925 | | | | | 4,925 | 934 | 187 |
| 90～ | 4,752 | | | | | 4,752 | 3,655 | 731 |

総人口 111,448 10,842 2,167

【コーホート要因法による将来人口の推計結果 - 集計】

| 年齢 | 単位 | 2005年 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 男 | 0～4 | 人 | 3,025 | 2,417 | 2,119 | 1,856 | 1,645 | 1,490 | 1,361 |
| | 5～9 | 人 | 2,960 | 2,650 | 2,260 | 1,981 | 1,736 | 1,538 | 1,393 |
| | 10～14 | 人 | 3,517 | 3,599 | 2,898 | 2,471 | 2,166 | 1,899 | 1,682 |
| | 15～19 | 人 | 4,166 | 3,736 | 3,698 | 2,978 | 2,539 | 2,226 | 1,952 |
| | 20～24 | 人 | 4,651 | 3,919 | 3,625 | 3,589 | 2,890 | 2,465 | 2,161 |
| | 25～29 | 人 | 3,989 | 2,946 | 3,055 | 2,826 | 2,798 | 2,253 | 1,922 |
| | 30～34 | 人 | 4,508 | 4,072 | 2,969 | 3,079 | 2,849 | 2,821 | 2,272 |
| | 35～39 | 人 | 3,466 | 4,341 | 3,978 | 2,901 | 3,009 | 2,785 | 2,758 |
| | 40～44 | 人 | 3,555 | 3,600 | 4,409 | 4,041 | 2,948 | 3,058 | 2,831 |
| | 45～49 | 人 | 4,042 | 3,597 | 3,601 | 4,413 | 4,047 | 2,954 | 3,065 |
| | 50～54 | 人 | 5,302 | 4,033 | 3,562 | 3,570 | 4,379 | 4,019 | 2,936 |
| | 55～59 | 人 | 5,889 | 5,145 | 3,924 | 3,472 | 3,485 | 4,281 | 3,933 |
| | 60～64 | 人 | 5,008 | 5,669 | 4,953 | 3,786 | 3,357 | 3,375 | 4,152 |
| | 65～69 | 人 | 4,317 | 5,241 | 5,655 | 4,958 | 3,800 | 3,377 | 3,402 |
| | 70～74 | 人 | 3,453 | 4,059 | 4,865 | 5,285 | 4,659 | 3,588 | 3,202 |
| | 75～79 | 人 | 3,085 | 3,052 | 3,550 | 4,298 | 4,708 | 4,181 | 3,240 |
| | 80～84 | 人 | 1,672 | 2,431 | 2,426 | 2,869 | 3,522 | 3,902 | 3,499 |
| | 85～89 | 人 | 715 | 1,112 | 1,647 | 1,690 | 2,045 | 2,559 | 2,881 |
| | 90～ | 人 | 281 | 571 | 630 | 885 | 1,032 | 1,267 | 1,611 |
| 女 | 0～4 | 人 | 2,869 | 2,393 | 2,097 | 1,837 | 1,627 | 1,471 | 1,348 |
| | 5～9 | 人 | 2,821 | 2,994 | 2,556 | 2,240 | 1,963 | 1,738 | 1,572 |
| | 10～14 | 人 | 3,346 | 3,118 | 3,059 | 2,611 | 2,289 | 2,006 | 1,776 |
| | 15～19 | 人 | 3,993 | 3,326 | 3,020 | 2,963 | 2,529 | 2,217 | 1,943 |
| | 20～24 | 人 | 4,490 | 3,243 | 2,799 | 2,541 | 2,493 | 2,128 | 1,866 |
| | 25～29 | 人 | 4,443 | 3,650 | 3,125 | 2,697 | 2,448 | 2,402 | 2,051 |
| | 30～34 | 人 | 4,772 | 4,123 | 3,521 | 3,015 | 2,602 | 2,362 | 2,318 |
| | 35～39 | 人 | 3,904 | 4,795 | 4,261 | 3,640 | 3,117 | 2,690 | 2,442 |
| | 40～44 | 人 | 4,036 | 4,071 | 4,822 | 4,286 | 3,661 | 3,136 | 2,706 |
| | 45～49 | 人 | 4,519 | 4,066 | 4,063 | 4,814 | 4,280 | 3,656 | 3,132 |
| | 50～54 | 人 | 5,626 | 4,549 | 4,081 | 4,079 | 4,835 | 4,300 | 3,674 |
| | 55～59 | 人 | 6,668 | 5,746 | 4,588 | 4,119 | 4,119 | 4,884 | 4,345 |
| | 60～64 | 人 | 5,556 | 6,806 | 5,773 | 4,613 | 4,144 | 4,147 | 4,919 |
| | 65～69 | 人 | 5,037 | 5,537 | 6,664 | 5,661 | 4,529 | 4,073 | 4,080 |
| | 70～74 | 人 | 4,966 | 4,957 | 5,449 | 6,576 | 5,599 | 4,487 | 4,042 |
| | 75～79 | 人 | 4,086 | 4,846 | 4,775 | 5,274 | 6,390 | 5,458 | 4,386 |
| | 80～84 | 人 | 2,948 | 3,609 | 4,238 | 4,217 | 4,696 | 5,727 | 4,918 |
| | 85～89 | 人 | 1,629 | 2,327 | 2,942 | 3,516 | 3,549 | 3,999 | 4,925 |
| | 90～ | 人 | 951 | 1,394 | 2,030 | 2,775 | 3,578 | 4,117 | 4,752 |
| 合計 | 人 | 144,261 | 141,740 | 137,687 | 132,422 | 126,062 | 119,036 | 111,448 | |

【将来人口の推計結果に基づく死亡者数の推計結果 - 集計】

| | 年齢 | 単位 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男 | 0～4 | 人 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 5～9 | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10～14 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15～19 | 人 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 20～24 | 人 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| | 25～29 | 人 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| | 30～34 | 人 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| | 35～39 | 人 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| | 40～44 | 人 | 5 | 6 | 5 | 4 | 4 | 3 |
| | 45～49 | 人 | 8 | 7 | 9 | 7 | 5 | 5 |
| | 50～54 | 人 | 15 | 12 | 11 | 13 | 11 | 8 |
| | 55～59 | 人 | 31 | 22 | 18 | 17 | 19 | 17 |
| | 60～64 | 人 | 52 | 42 | 30 | 25 | 24 | 29 |
| | 65～69 | 人 | 68 | 68 | 56 | 41 | 35 | 33 |
| | 70～74 | 人 | 90 | 99 | 100 | 83 | 60 | 51 |
| | 75～79 | 人 | 113 | 120 | 136 | 139 | 117 | 86 |
| | 80～84 | 人 | 155 | 139 | 152 | 174 | 182 | 155 |
| | 85～89 | 人 | 128 | 170 | 161 | 181 | 212 | 226 |
| | 90～ | 人 | 127 | 199 | 262 | 290 | 340 | 415 |
| 女 | 0～4 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 5～9 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10～14 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15～19 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 20～24 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 25～29 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | 30～34 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 35～39 | 人 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 40～44 | 人 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| | 45～49 | 人 | 4 | 4 | 5 | 4 | 3 | 3 |
| | 50～54 | 人 | 8 | 6 | 6 | 7 | 6 | 5 |
| | 55～59 | 人 | 14 | 10 | 9 | 8 | 10 | 8 |
| | 60～64 | 人 | 24 | 19 | 15 | 13 | 12 | 14 |
| | 65～69 | 人 | 30 | 33 | 26 | 20 | 17 | 16 |
| | 70～74 | 人 | 42 | 43 | 48 | 38 | 29 | 25 |
| | 75～79 | 人 | 72 | 64 | 65 | 74 | 59 | 45 |
| | 80～84 | 人 | 105 | 110 | 100 | 103 | 118 | 95 |
| | 85～89 | 人 | 133 | 150 | 164 | 153 | 161 | 187 |
| | 90～ | 人 | 266 | 365 | 475 | 588 | 653 | 731 |
| 合計 | 人 | 1,514 | 1,709 | 1,872 | 1,998 | 2,091 | 2,167 | |